

福岡看護大学

平成30年度「学生による授業評価」報告書

令和2年3月

巻頭言

福岡看護大学 FD 委員会委員長
飯野英親

平成 30 年度は福岡看護大学看護学部看護学科の開学 2 年目の年である。

本学の学士課程では、基礎学力と幅広い教養の涵養に加え、対象一人ひとりの尊厳を保ち、その人らしい最適な暮らし (well-being) を支えることができる看護専門職の育成を目指している。また、口腔の健康管理を通して全身への健康支援ができるような看護実践力の育成に特徴を持たせた段階的なカリキュラムを編成している。1 年次の教育では、看護の講義、演習、模擬患者を利用した臨床シミュレーション教育、臨床実習科目へ展開し、看護実践力の育成を図りながら、同時に基礎ゼミナールを展開し、学部教育を効果的に学習するための基礎となる、学部レベルのアカデミックリテラシーの教育に注力してきた。

2 年目となり、専門基礎分野、看護の専門科目が大部分を占め、看護関連科目、看護専門科目の教育を振り返る時期に入った。そのため、学部教育の改善と教育の実質化について検討するための基礎資料として、「学生による授業評価アンケート」の結果をまとめた。既に、アンケート結果は平成 31 年度の早い時期に教員へフィードバックして、3 年目の学部教育へ生かされている。

一般に、看護の学部教育の質の保証、看護教育の実質化という課題に対して、適切でかつ分かり易い評価方法として、特定の方法を定めることは難しい課題である。そのため、どうしても卒業時点のアウトカム評価である、看護師・保健師国家試験合格率や就職先が注目されやすい。しかし、免許資格に対する合格率、就職試験の突破という結果は、4 年間をとおして教育してきた集大成としてのアウトカム評価であり、そのアウトカムを左右するものは、各学期で展開される教科一つひとつの教育内容・手法の質、教員の情熱である。そのため、われわれ教員は、学生からフィードバックされた結果を真摯に受け止め、自らが責任範囲にある教科の教育内容・方法を振り返りながら、より効果的な教育へ改善するための士気を奮い立たせて、努力しなければならない。

また、教育に対する学生の習熟度は、学生自身が課題解決の必要に迫られたときに本人が自覚し、学習の理解の深さは、どれだけ問題意識をもって能動的に学んだかによる。そのため、学生の主体的な学習姿勢をどのように育て、伸ばしていくかが重要となる。学生の学習姿勢を変化させるためには、教員がその教科の魅力や素晴らしさを伝えられるような講義内容や指導方法を試行錯誤する必要がある。本アンケート結果のまとめが、その一助となることを願っている。

最後になりましたが、学生による授業評価報告書の制作にご協力を頂きました皆様に御礼申し上げます。

令和 2 年 3 月

目 次

巻頭言

平成30年度福岡看護大学「授業評価」実施要項	1
授業評価の集計と解析	2
1年・前期「学生による授業評価」結果	4
1年・後期「学生による授業評価」結果	14
2年・前期「学生による授業評価」結果	24
2年・後期「学生による授業評価」結果	34
教員調査の結果資料	44

1. 授業評価の目的

学生による「授業評価」は、学生の視点からみた授業の内容、授業方法、教材、設備、環境などについて率直な意見や感想を聴取し、それらをまとめて、その内容を授業担当教員およびその他の関係者に伝達することで、今後の授業の改善とより質の高い授業を行うための参考資料とすることを目的とする。

2. 実施対象科目

開講されているすべての講義および実習について行う。

3. 調査の方法と実施

授業に関する質問用紙（別紙）を準備し、回答は無記名でマークシートに記入させ、回収する。調査項目に対する評価は5段階評価とする。なお、調査表に自由記入欄を設け、学生の多様な意見や感想を記述してもらうようにする。

調査で回収したマークシートは担当者が学務課に提出する。

4. 実施時期

原則としてそれぞれの授業終了時とする。

5. 教員調査

各教員の調査結果をそれぞれの教員に送付し、「学生の声」に対するコメントならびに今後の授業計画・方針などについて所定のフォームに記載したものを授業評価部会に返送する。

6. 集計

FD 委員会 授業評価部会が担当する。

7. 結果の公開と活用

調査結果については授業評価部会で「報告書」にまとめ、各教員別の結果を担当教員および関係者へ送付する。それぞれの教員は調査結果を参考にして次年度の授業内容の改善に役立てる、調査結果の学外および学生への公表の可否については、教授会の議を経て決める。

8. 個人情報としての調査結果の取り扱い

「学生による授業評価」ならびに「教員調査」の結果を公表するにあたっては、教員の経済的、社会的不利益を与えるようなことには使用しない、また、これらの結果を学外へ公表する際には、個人情報保護法を遵守する。

9. 調査資料および結果の位置づけ

「学生による授業評価」の結果、「教員へのフィードバック内容」ならびにその考察は、大学の外部評価（第三者評価）準備資料あるいは認証評価機構（大学基準協会など）等による評価を受けるための基礎資料として位置づけられる。

授業評価の集計と解析

1. 授業アンケートの集計と解析の方法

この報告書の対象は、平成 30 年度の前期および後期に行われた第 1 学年の授業（講義および演習）および第 2 学年の授業（講義および演習）で、標準的な質問への回答の結果を集計した。

<授業アンケートの質問項目>

本年度のアンケートの質問項目は、以下の 12 項目であり、6) と 12) が自由記述による回答、残りはマークシートの選択肢を選んでの回答である。選択肢を選ぶ質問項目では、強くそう思う、そう思う、どちらともいえない、そうは思わない、全くそう思わない、の 5 段階の選択肢から選ぶものとした。1) から 6) は講義を受けた学生による授業への評価を目的とするものであり、7) から 12) は講義への学生の自己評価を目的とするものである。

[アンケート質問項目]

- 1) 授業の要点は分かりやすい展開でしたか？
- 2) 教員は学生の理解度に十分気を配っていましたか？
- 3) 教員の声は明瞭で聞き取りやすかったですか？
- 4) 教員の授業に対する熱意は十分でしたか？
- 5) 教員は授業の準備を良くしていると思いますか？
- 6) あなたが受講したこの授業について自由な意見をこの空欄に書いてください。
- 7) あなたはこの授業において自分で問題意識を持ち、考えようと思いましたか？
- 8) あなたはこの授業の予習・復習をするように努めましたか？
- 9) あなたはこの授業の疑問点について自分で解決しようと思いましたか？
- 10) あなたはこの授業においてノートを作成し、活用できましたか？
- 11) あなたはこの授業中、居眠りや私語をしなかったと思いますか？
- 12) この授業を受講したあなた自身について自由な意見をこの空欄に書いてください。

<授業のアンケートの回答の集計>

学年別に前期および後期別に、授業について、質問項目ごとに集計結果を表示した。5 段階の選択肢を選んだ学生の割合を、100%の帯グラフとして構成割合を示した。一覧の表示にあたって以下のようにした。①学生の割合の分母は履修した学生数とした。②カテゴリーの色について、最も肯定的なものを青色、次に肯定的なものを橙色とし、最も否定的なものを緑色、次に否定的なものを黄色とした。

<教員の自己点検・自己評価のための資料>

自己点検・自己評価のための参考資料として、科目ごとにレーダーチャートを表示した。担当授業等ごとに肯定的な 2 つの選択肢（青色と橙色）を選んだ割合を算出した。レーダーチャートに示した 2 つの選択肢の割合の分母は、履修した学生数である。

<教員の自己点検・自己評価>

レーダーチャート等を参考に教員が 3 項目の所見を記載した。今までの工夫、学生の評価結果をどのように捉えるか、それらに対する今後の工夫別に記載した。教員の所見から主要な内容を選択・抽出した。

2. 授業アンケート結果の分析

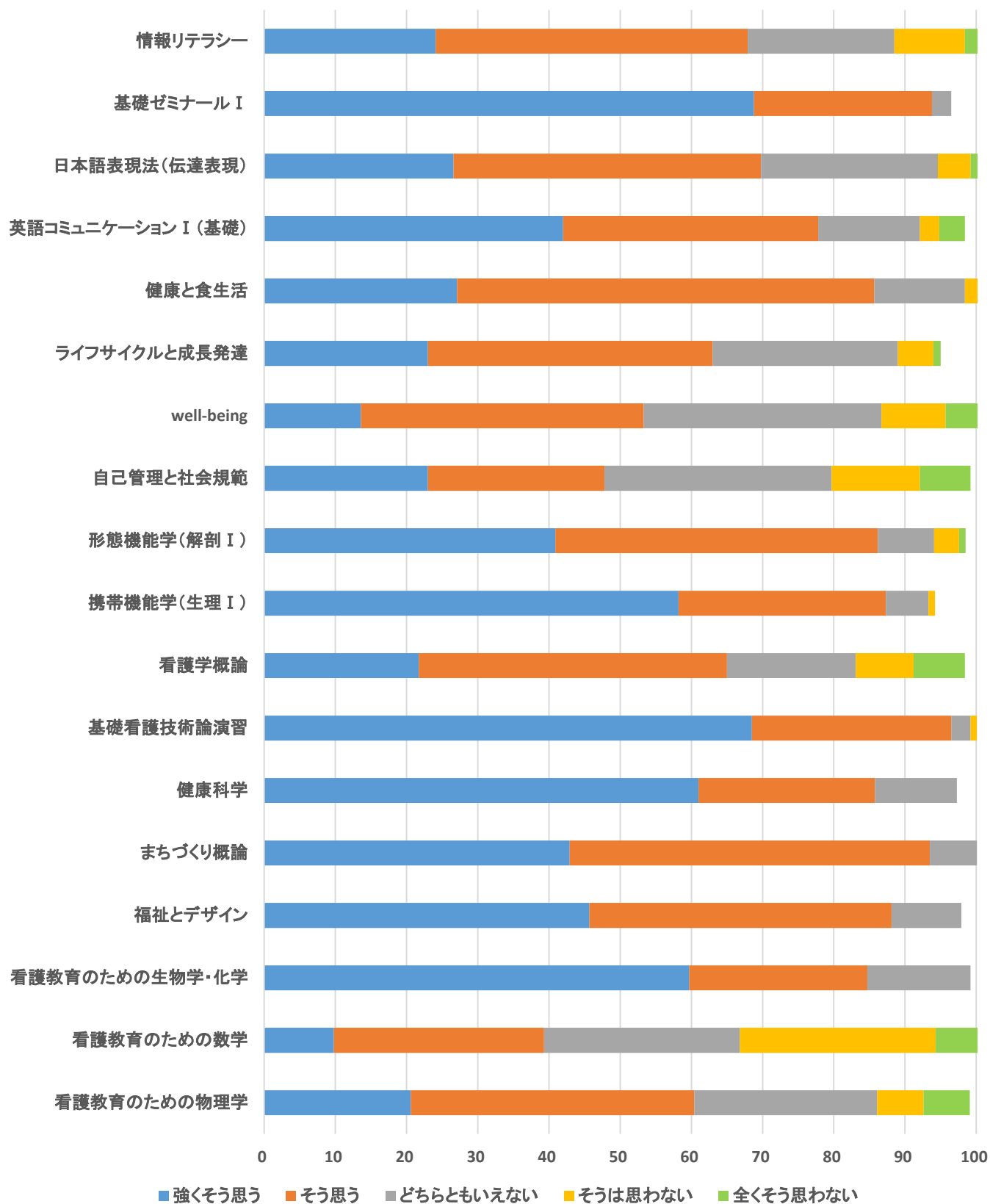
平成 30 年度の授業アンケートは、「1 年生 前期 18 科目、後期 22 科目、合計 40 科目」および「2 年生 前期 21 科目、後期 17 科目、合計 38 科目」について行われた。

● 前期および後期別に、授業について、質問項目ごとに集計結果

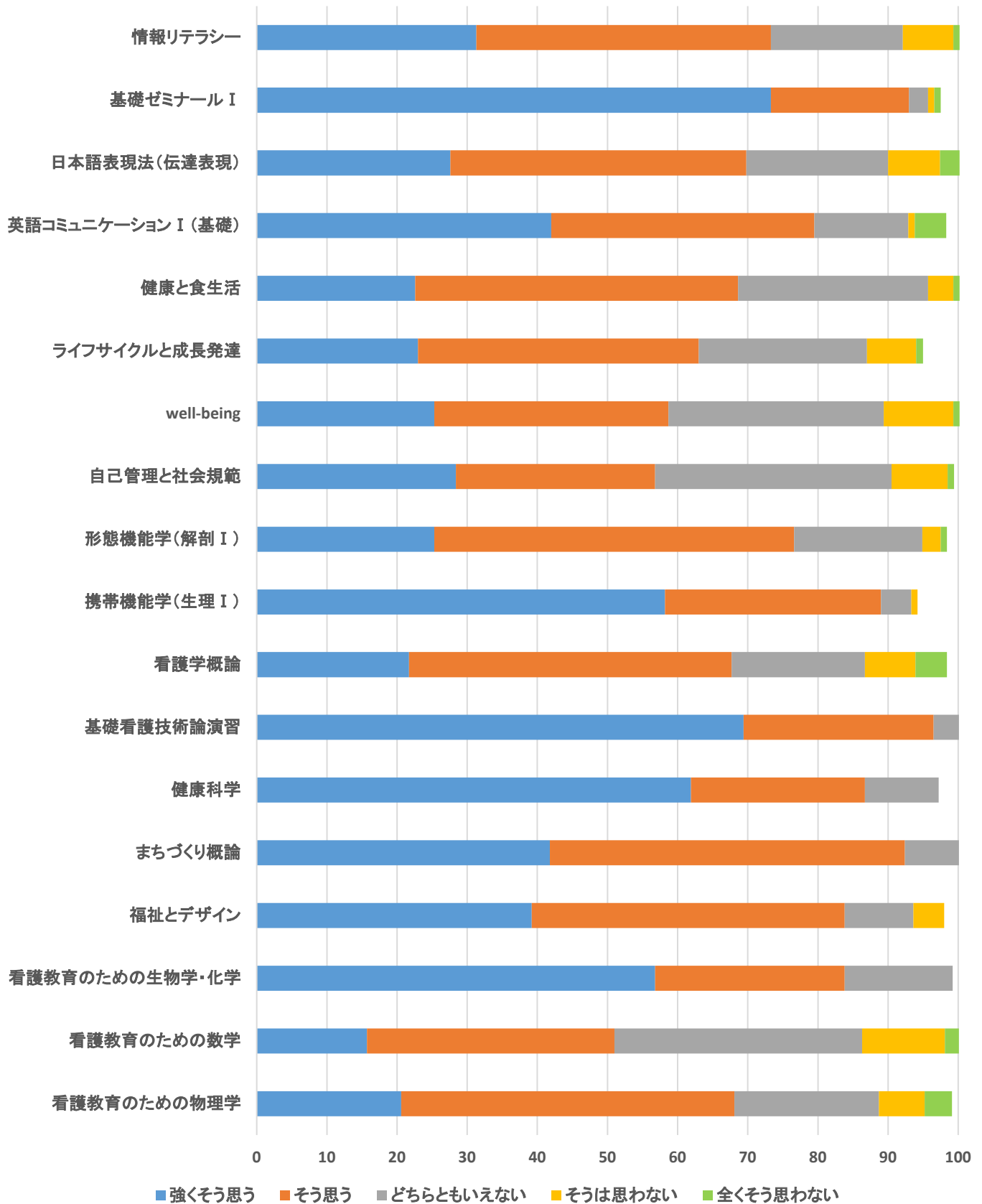
(5 段階の選択肢を選んだ学生の割合を、100%の帯グラフとして構成割合を示したもの)

※問 6・12 については自由記述のため除外

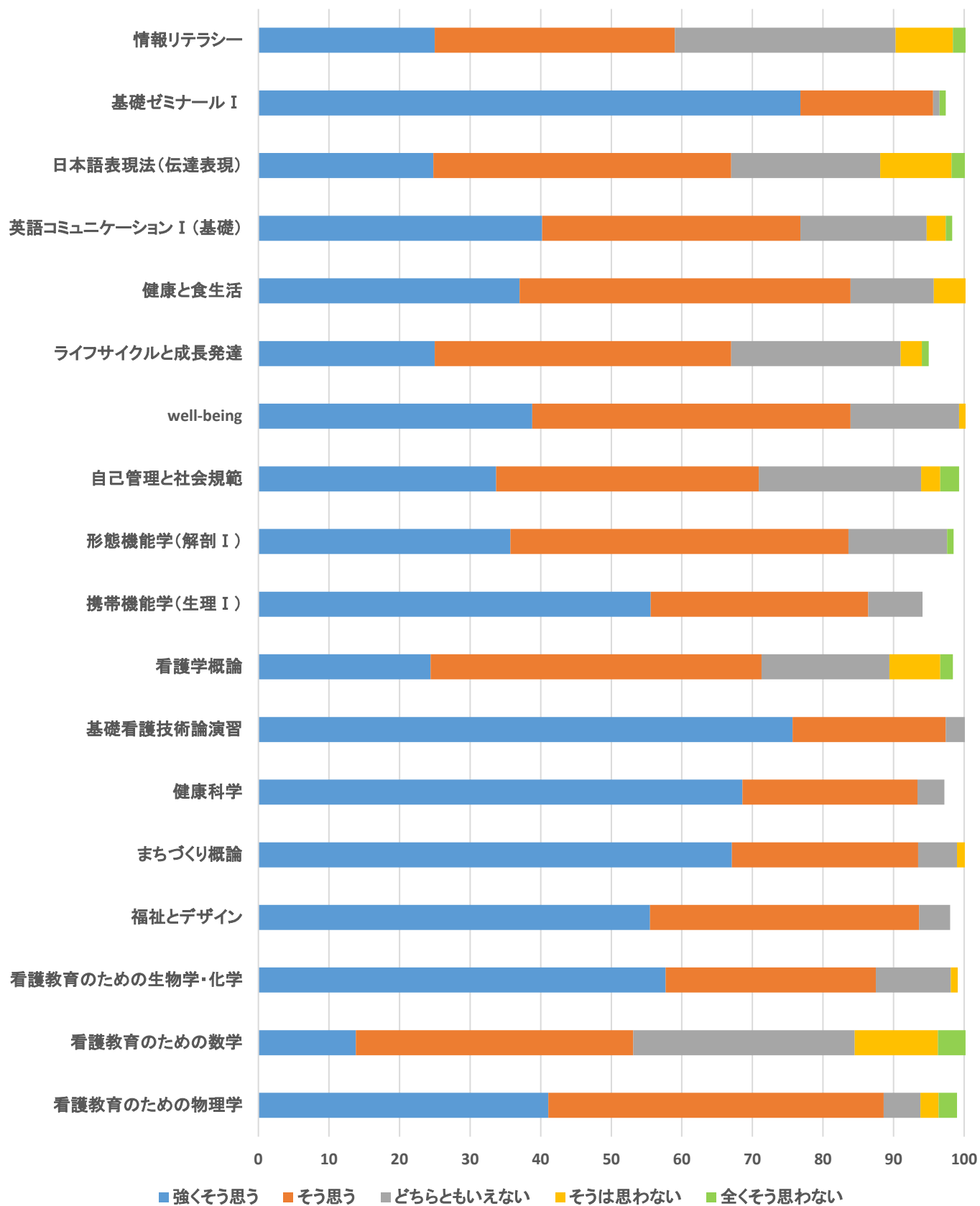
設問1: 授業の要点はわかりやすい 展開でしたか？



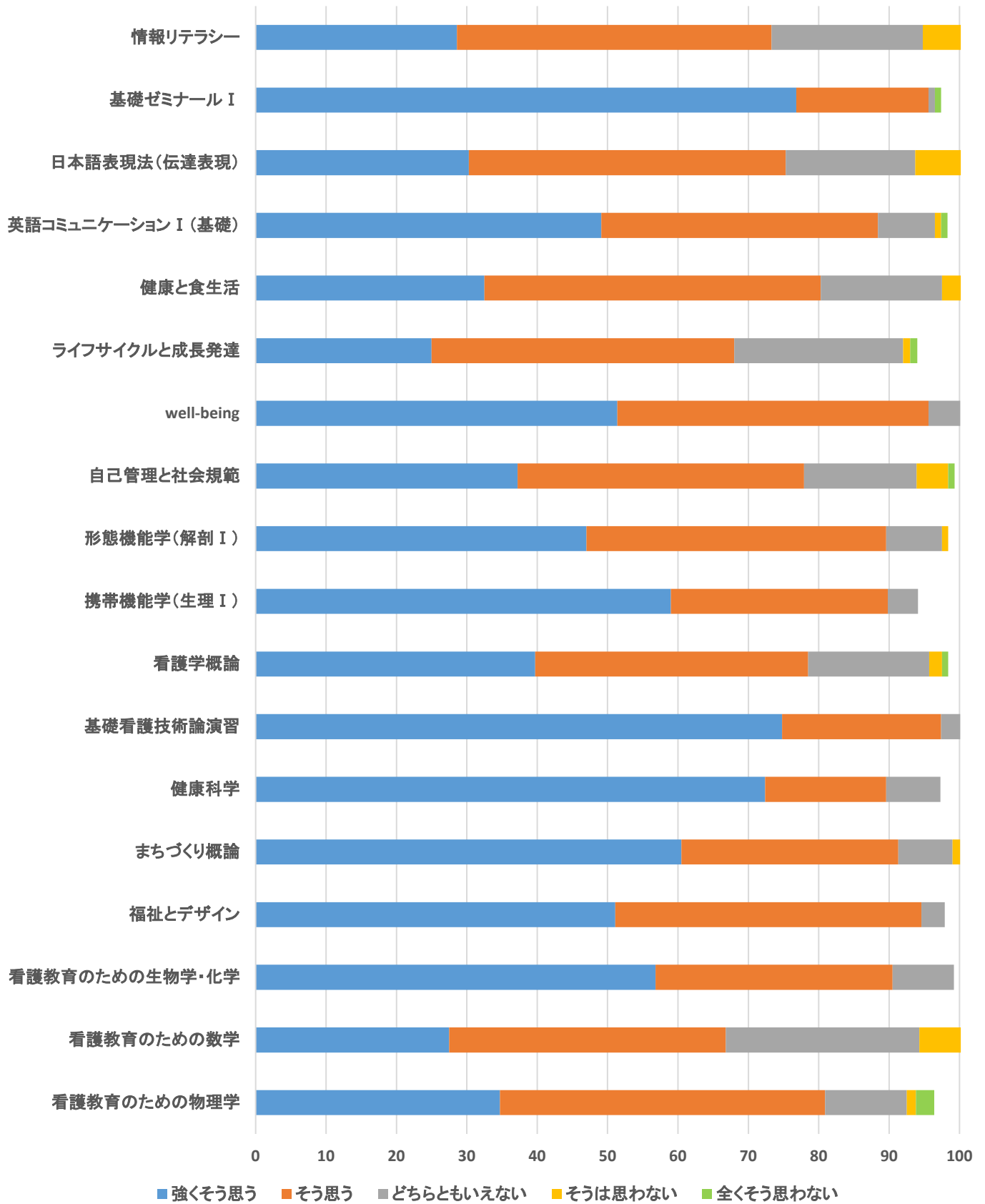
設問2: 教員は学生の理解度に 十分気を配っていましたか？



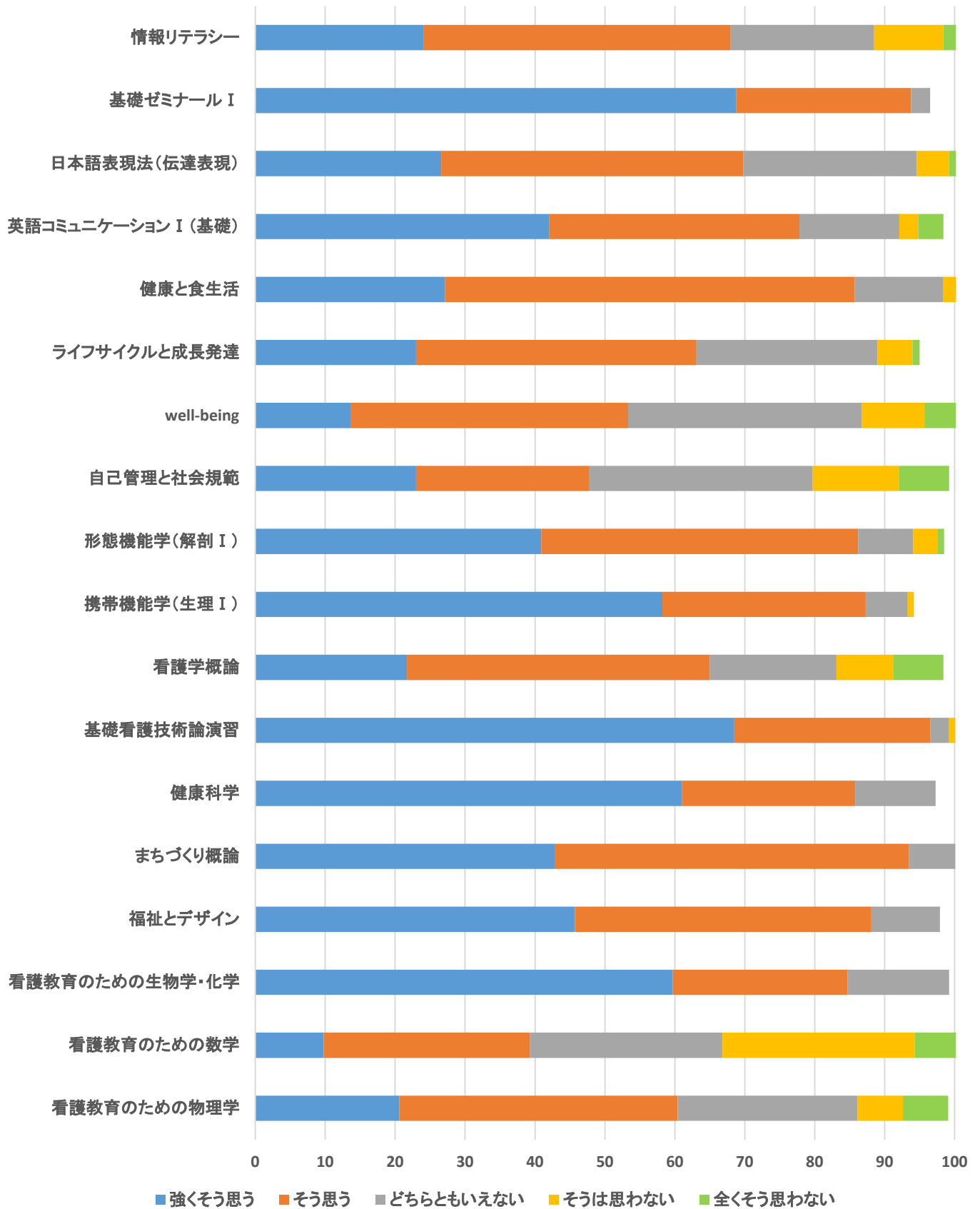
設問3: 教員の声は明瞭で聞き取りやすかったですか？



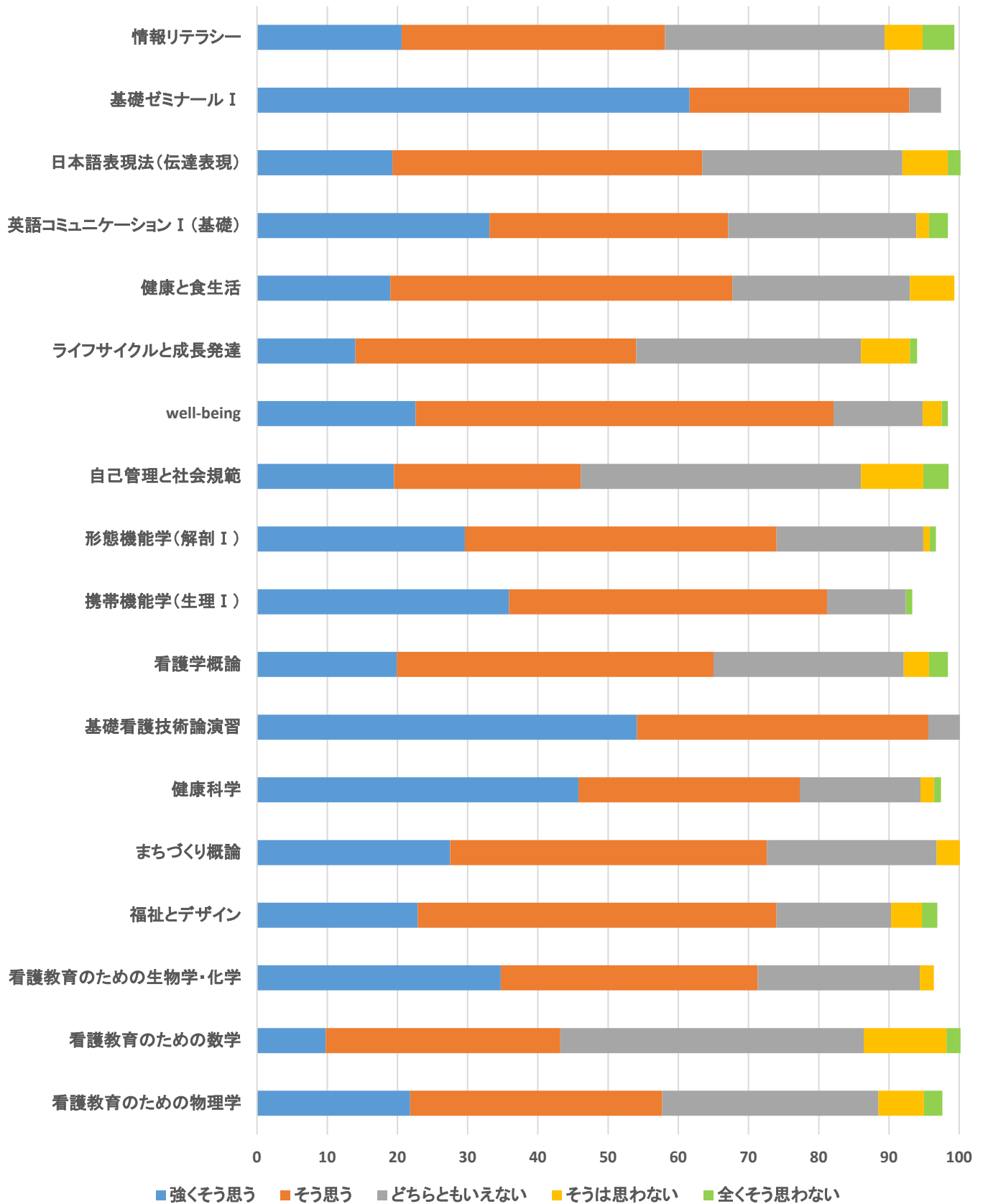
設問4:教員の授業に対する 熱意は十分でしたか？



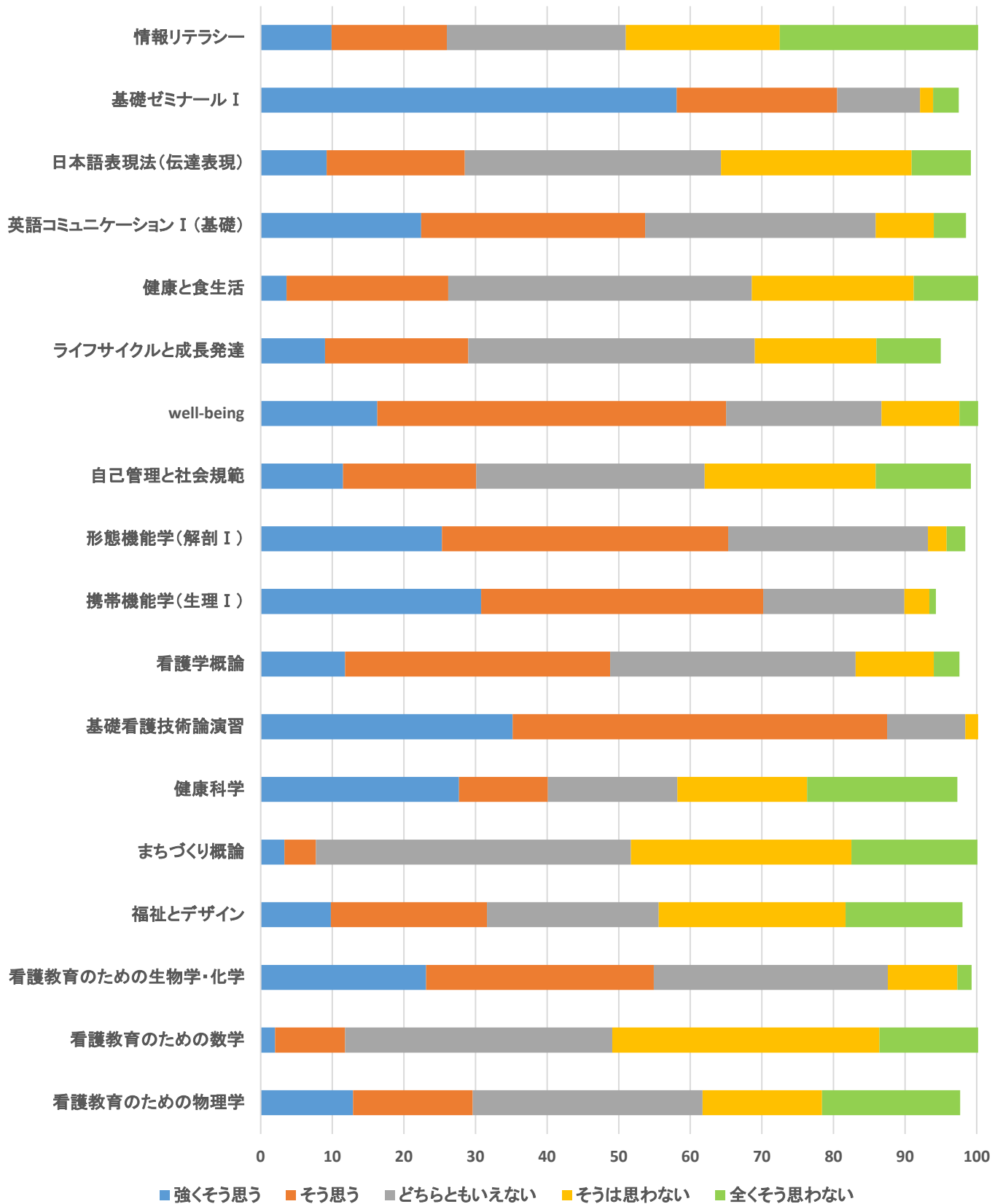
設問5: 教員は授業の準備を 良くしていると思いますか？



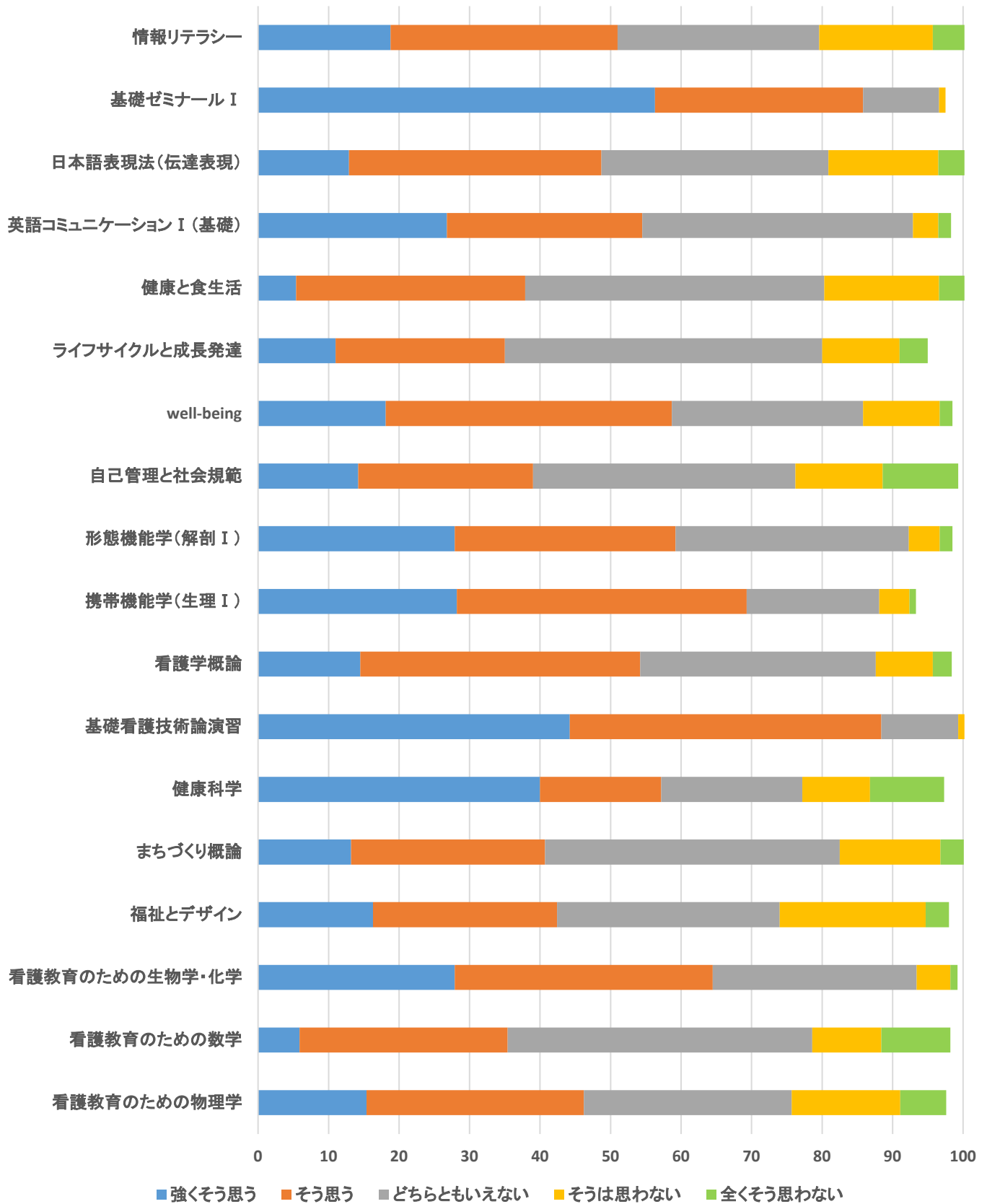
設問7: あなたはこの授業において自分で問題意識を持ち、考えようとしたか？



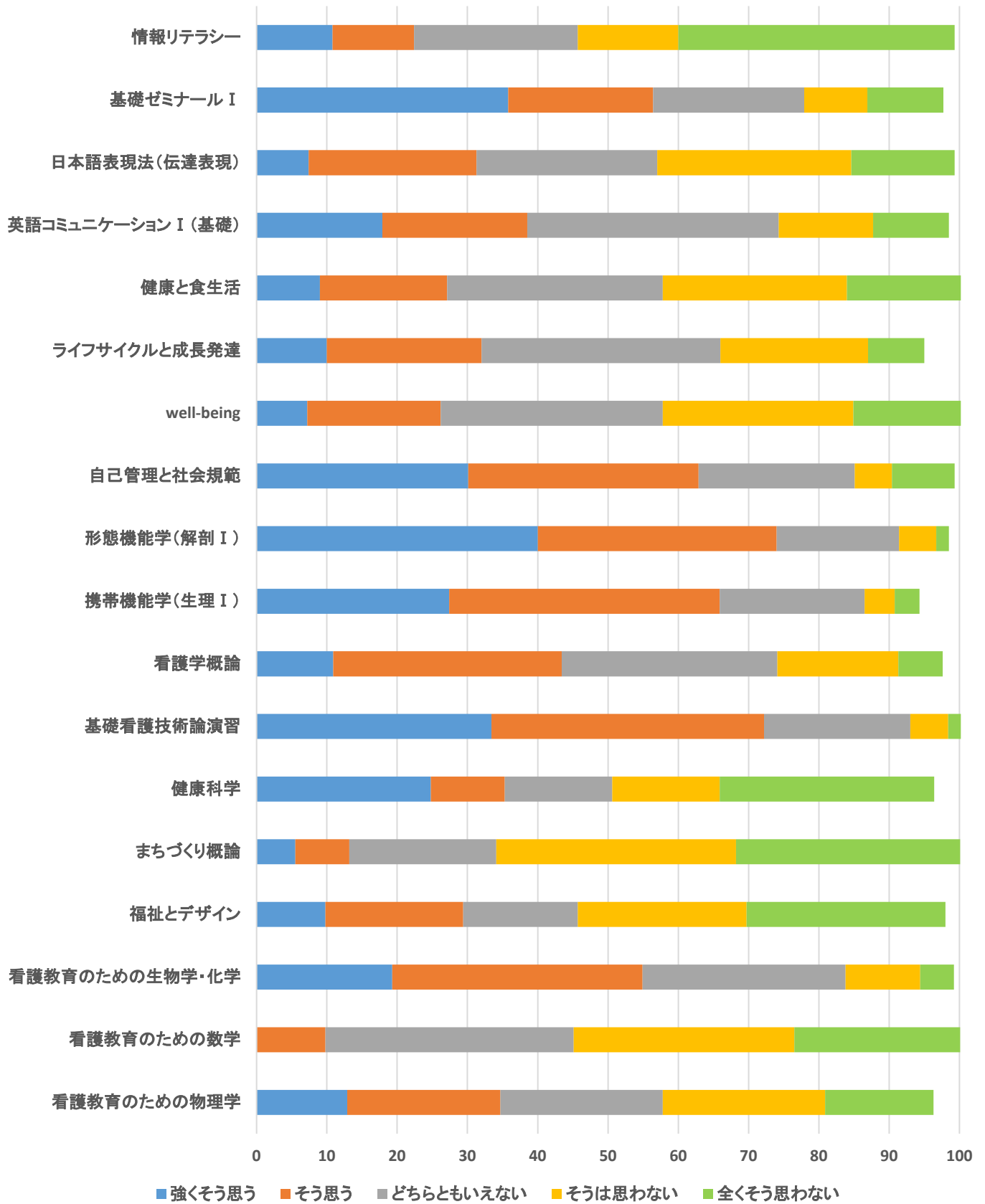
設問8: あなたはこの授業の予習・復習をするように努めましたか？



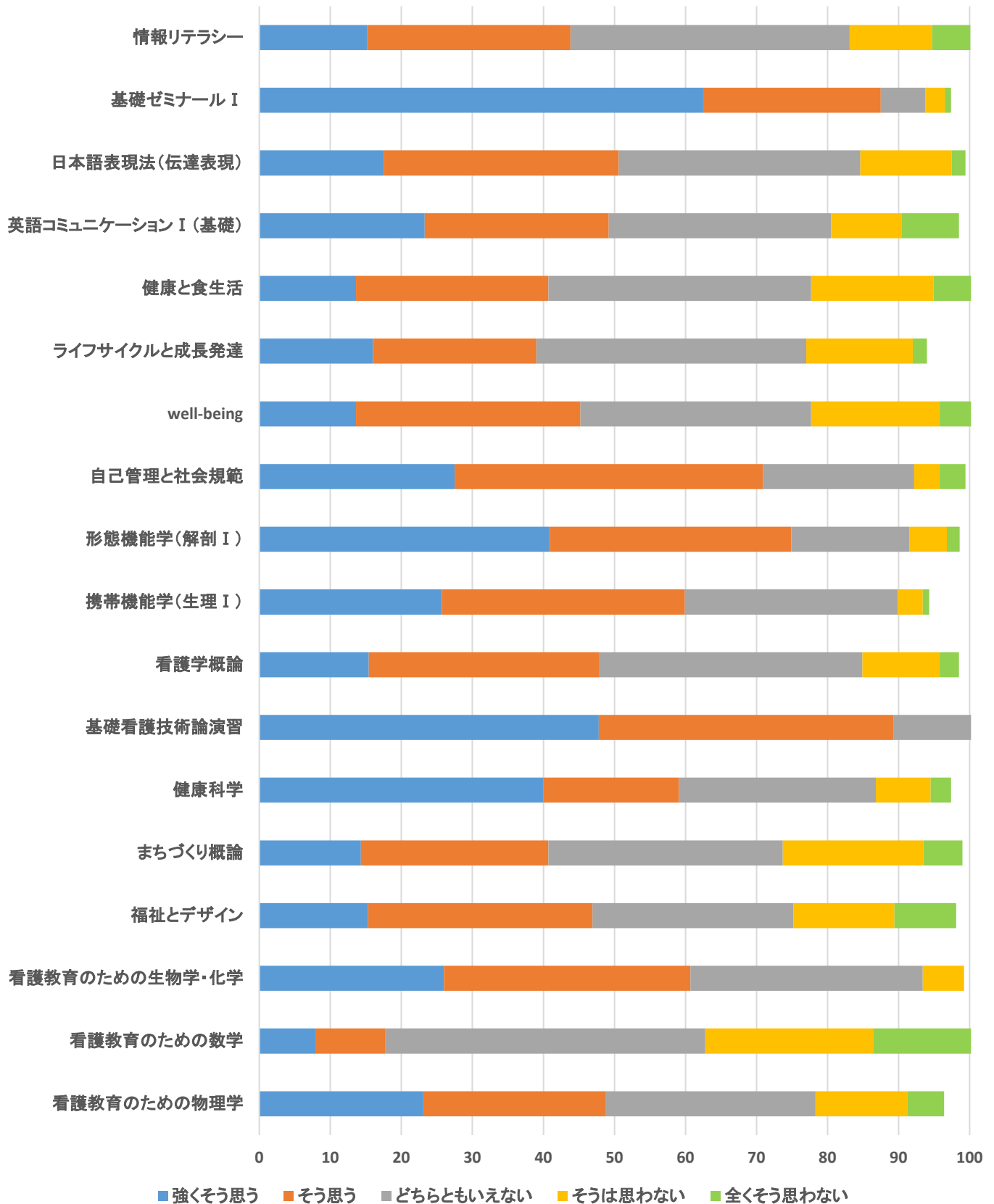
設問9: あなたはこの授業の問題点について 自分で解決しようとしたか?



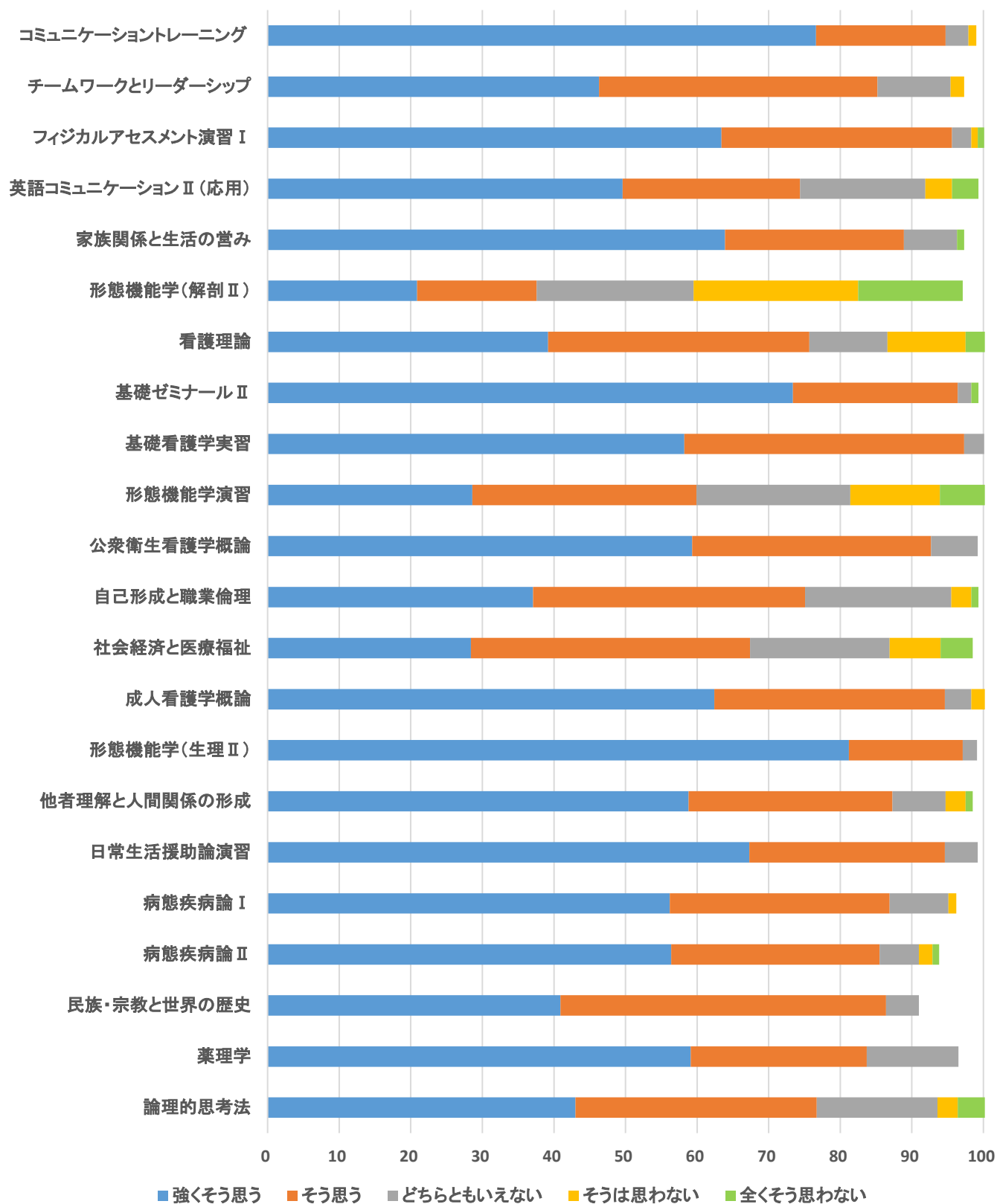
設問10: あなたはこの授業において ノートを作成し、活用できましたか？



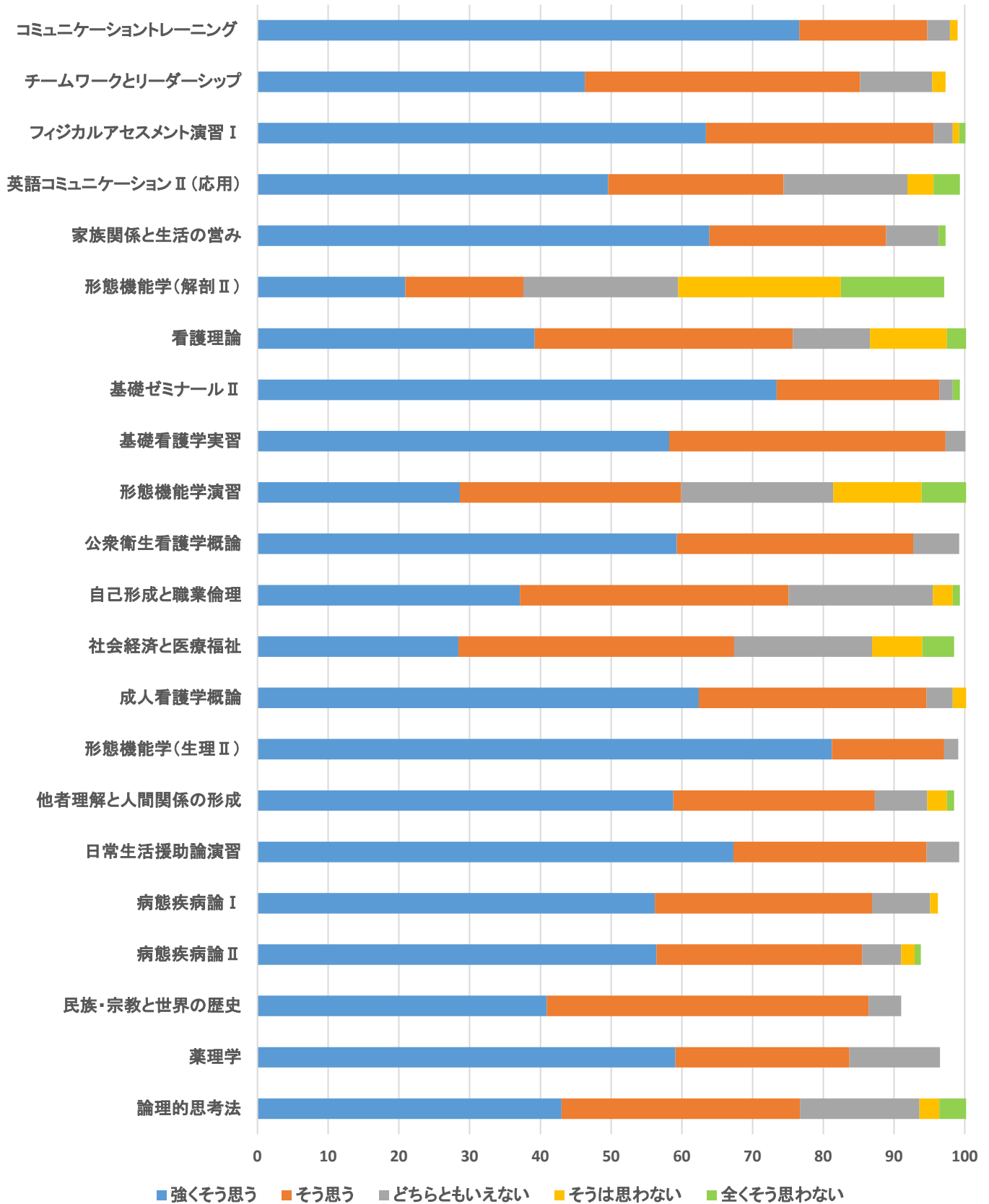
設問11: あなたはこの授業中、居眠りや私語をしなかったと思いますか？



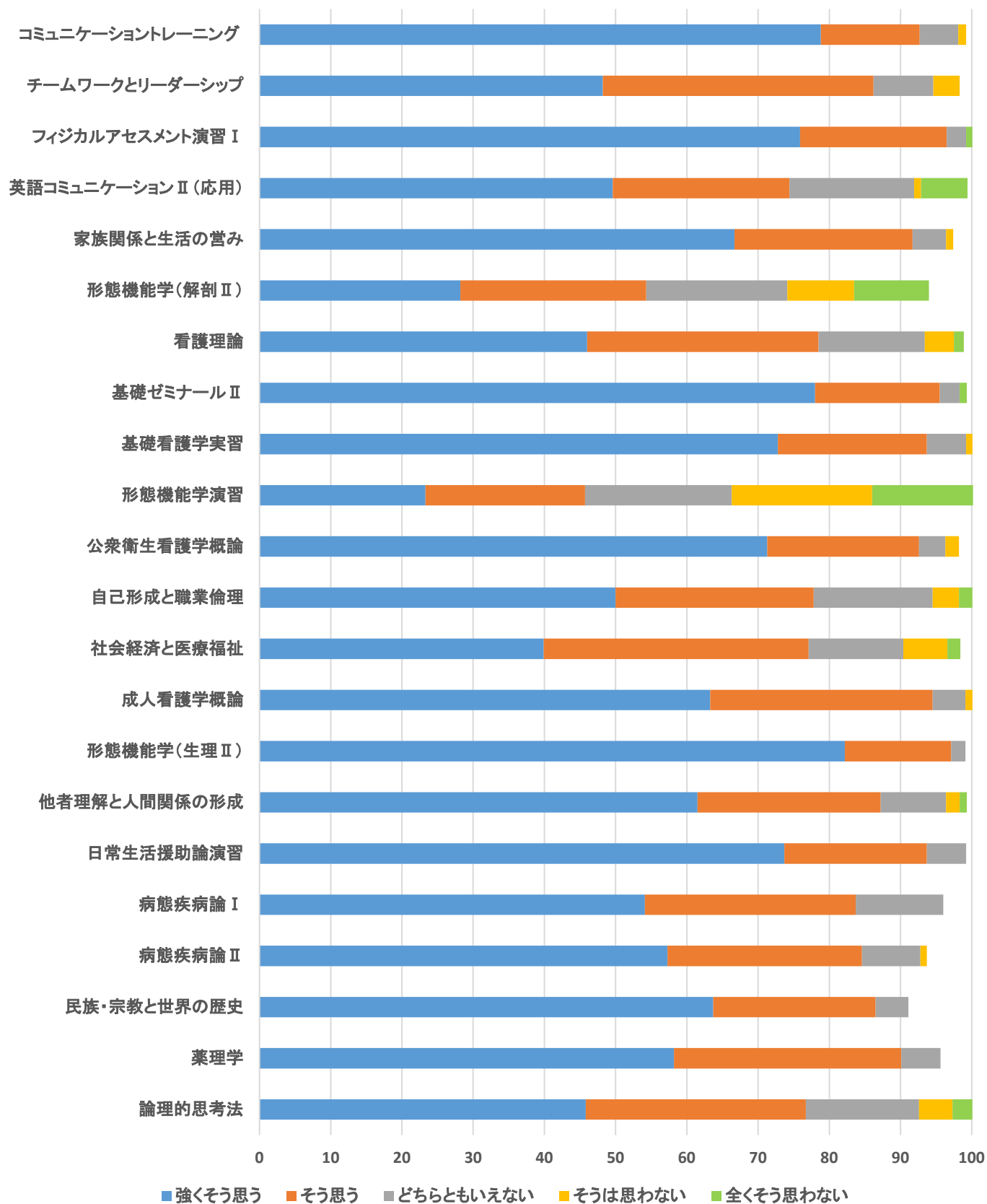
設問1:授業の要点はわかりやすい 展開でしたか？



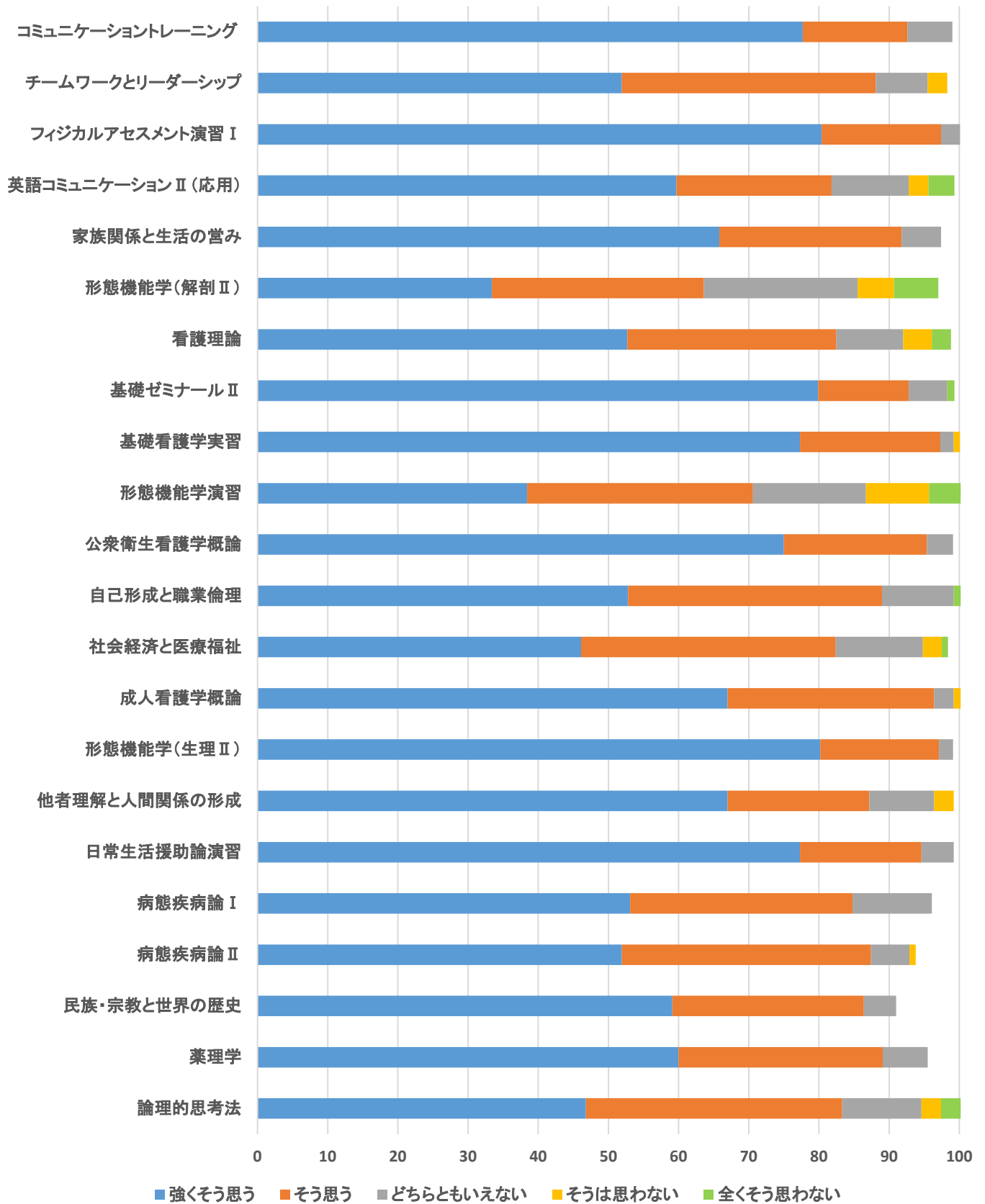
設問2: 教員は学生の理解度に 十分気を配っていましたか？



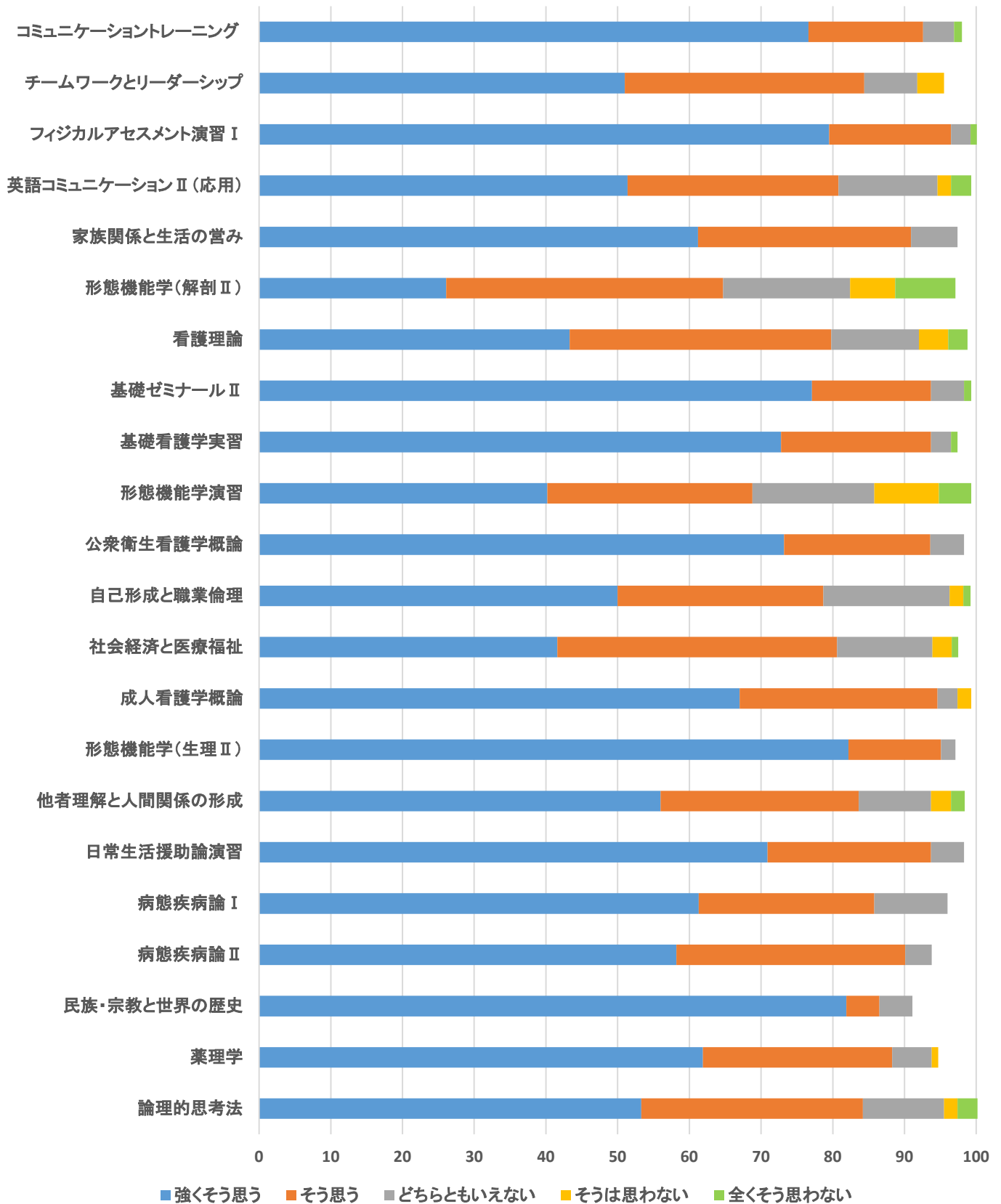
設問3: 教員の声は明瞭で聞き取りやすかったですか？



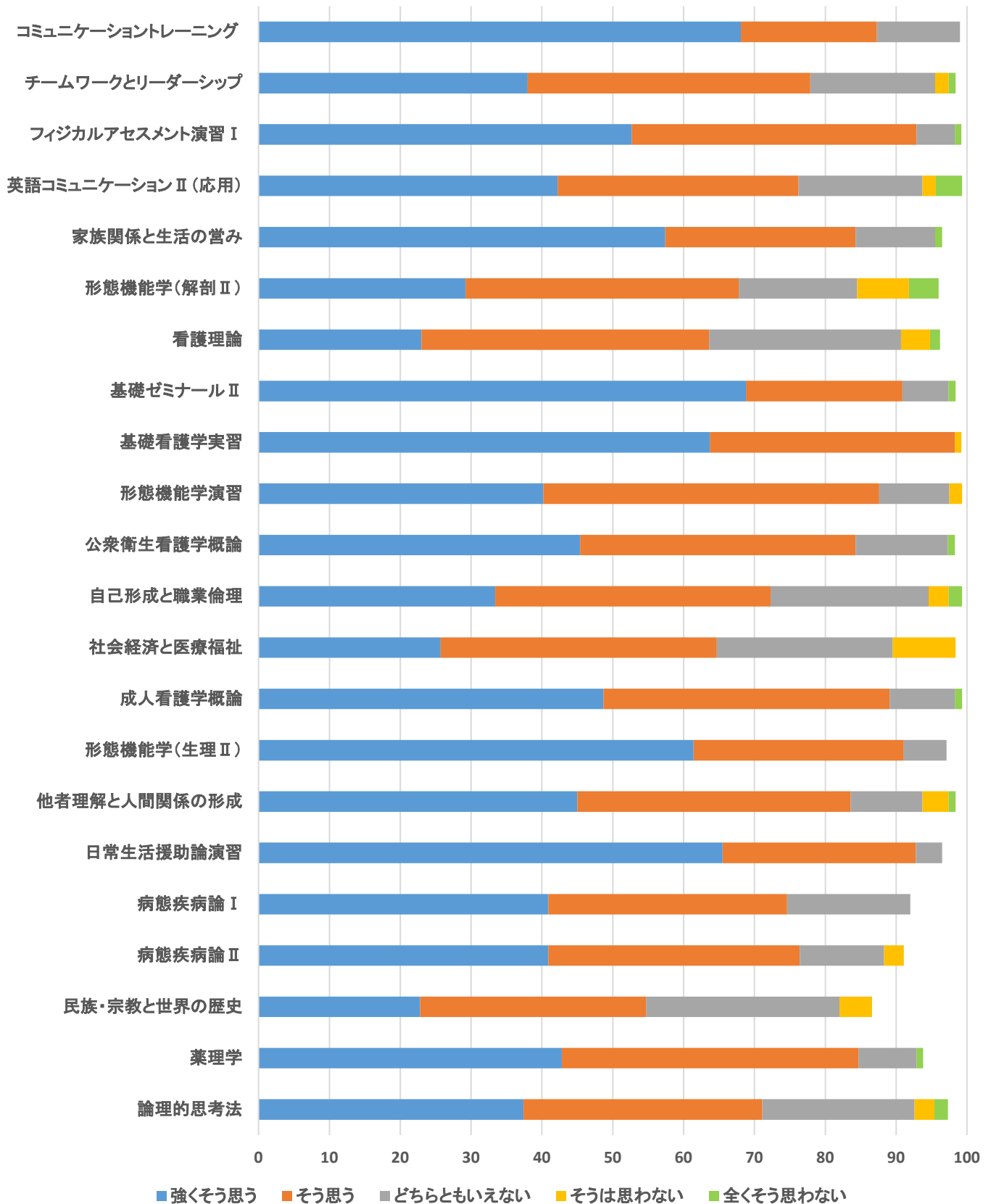
設問4: 教員の授業に対する 熱意は十分でしたか？



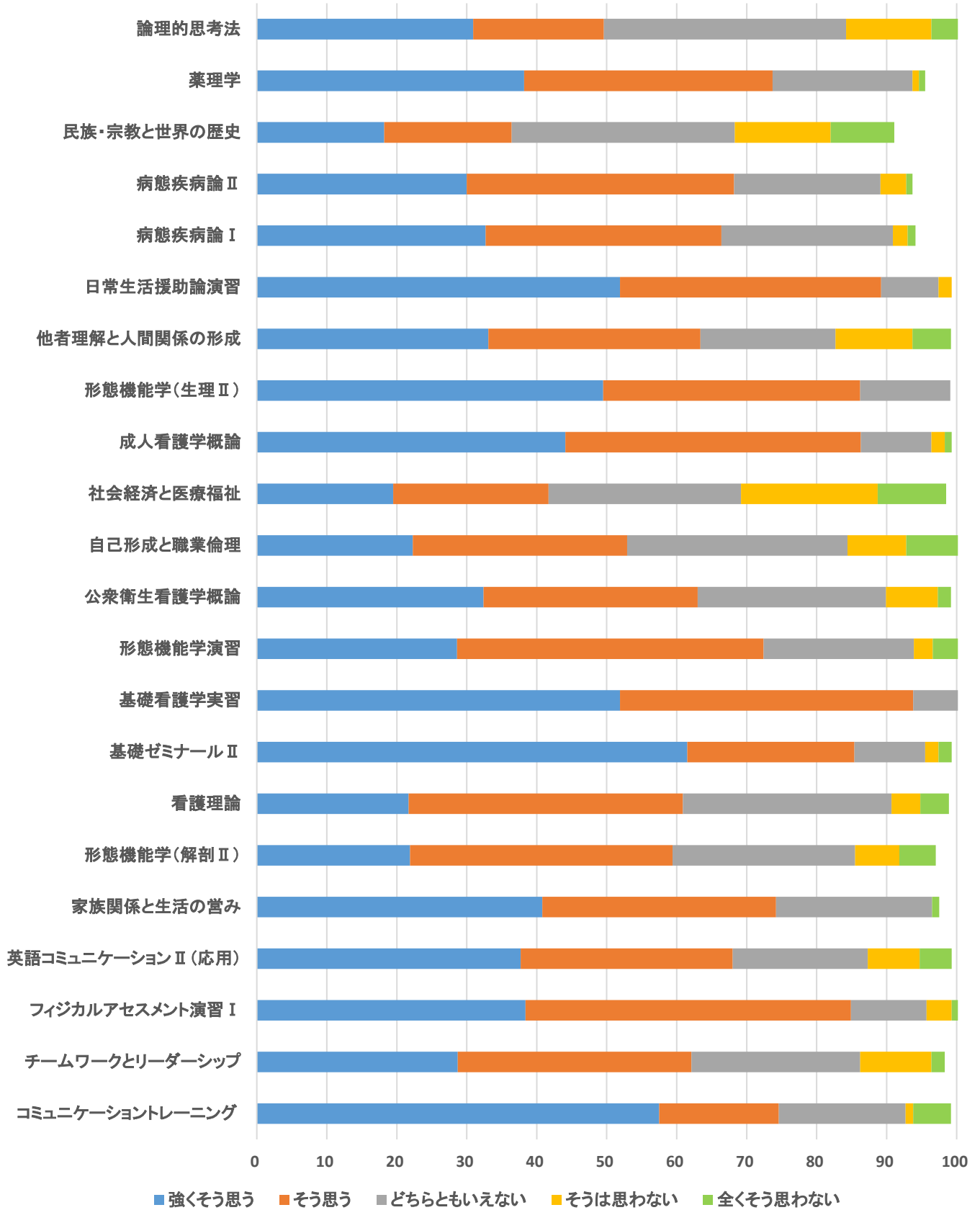
設問5: 教員は授業の準備を 良くしていると思いますか？



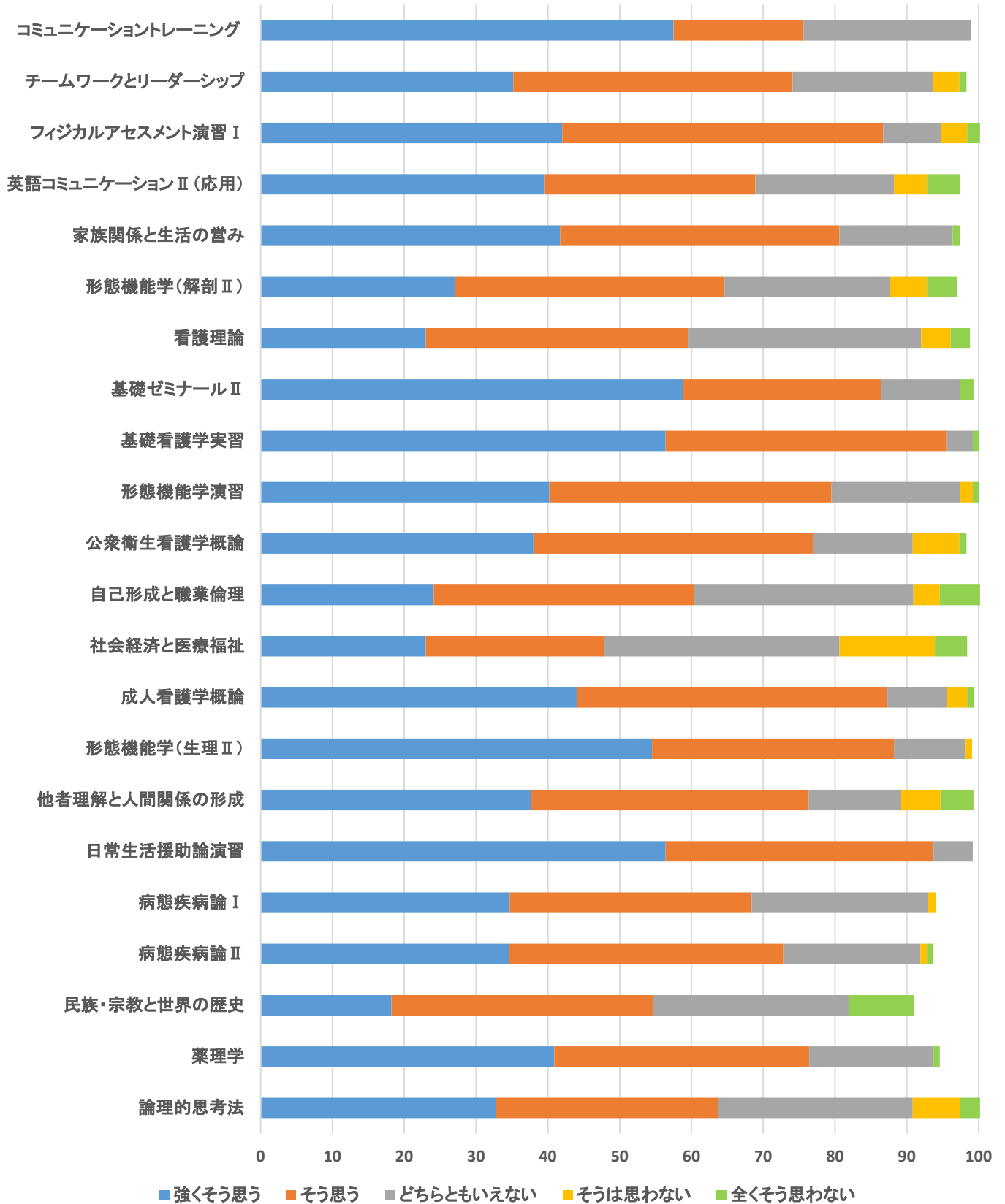
設問7: あなたはこの授業において自分で問題意識を持ち、考えようとしたか？



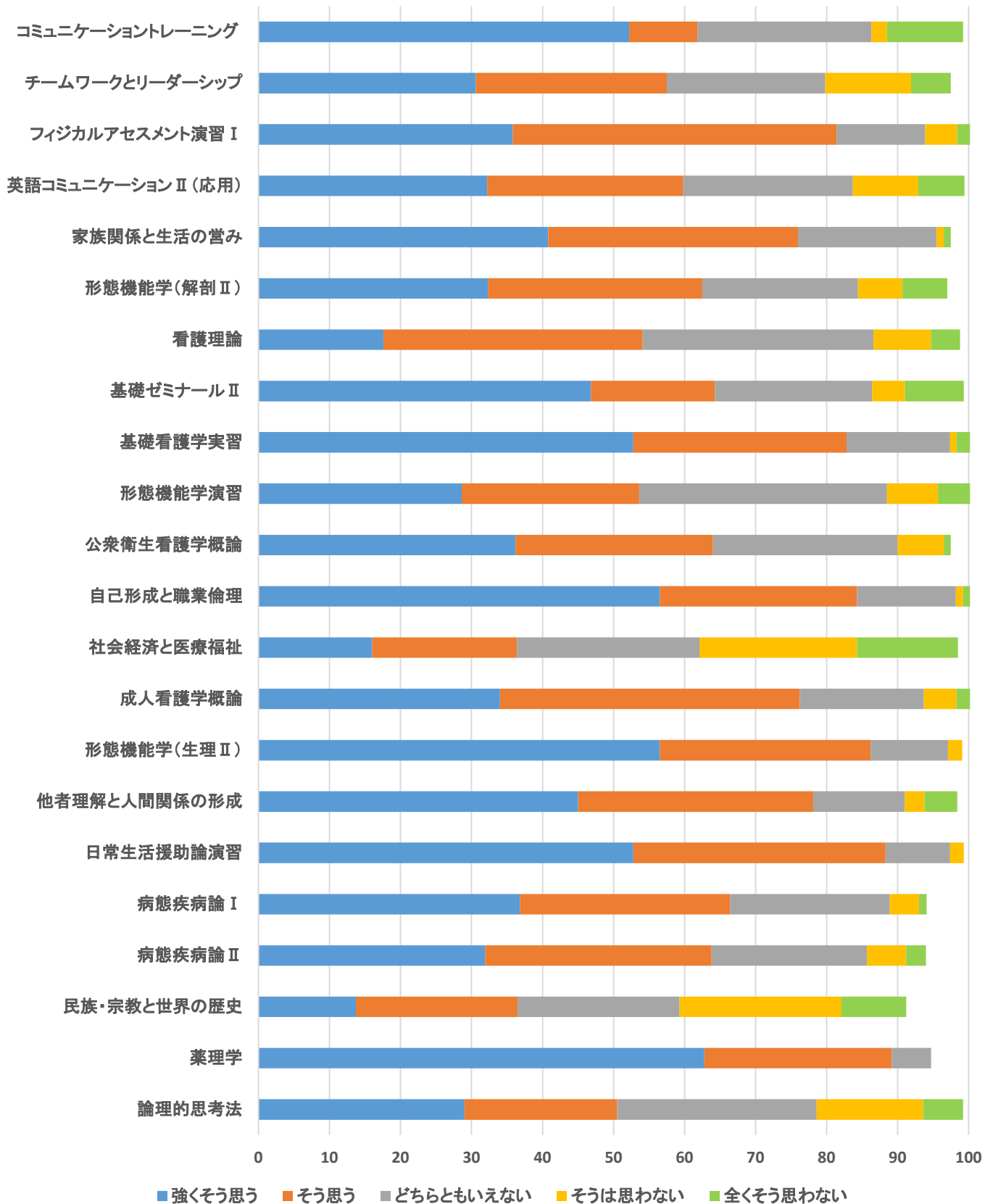
設問8: あなたはこの授業の予習・復習をするように努めましたか？



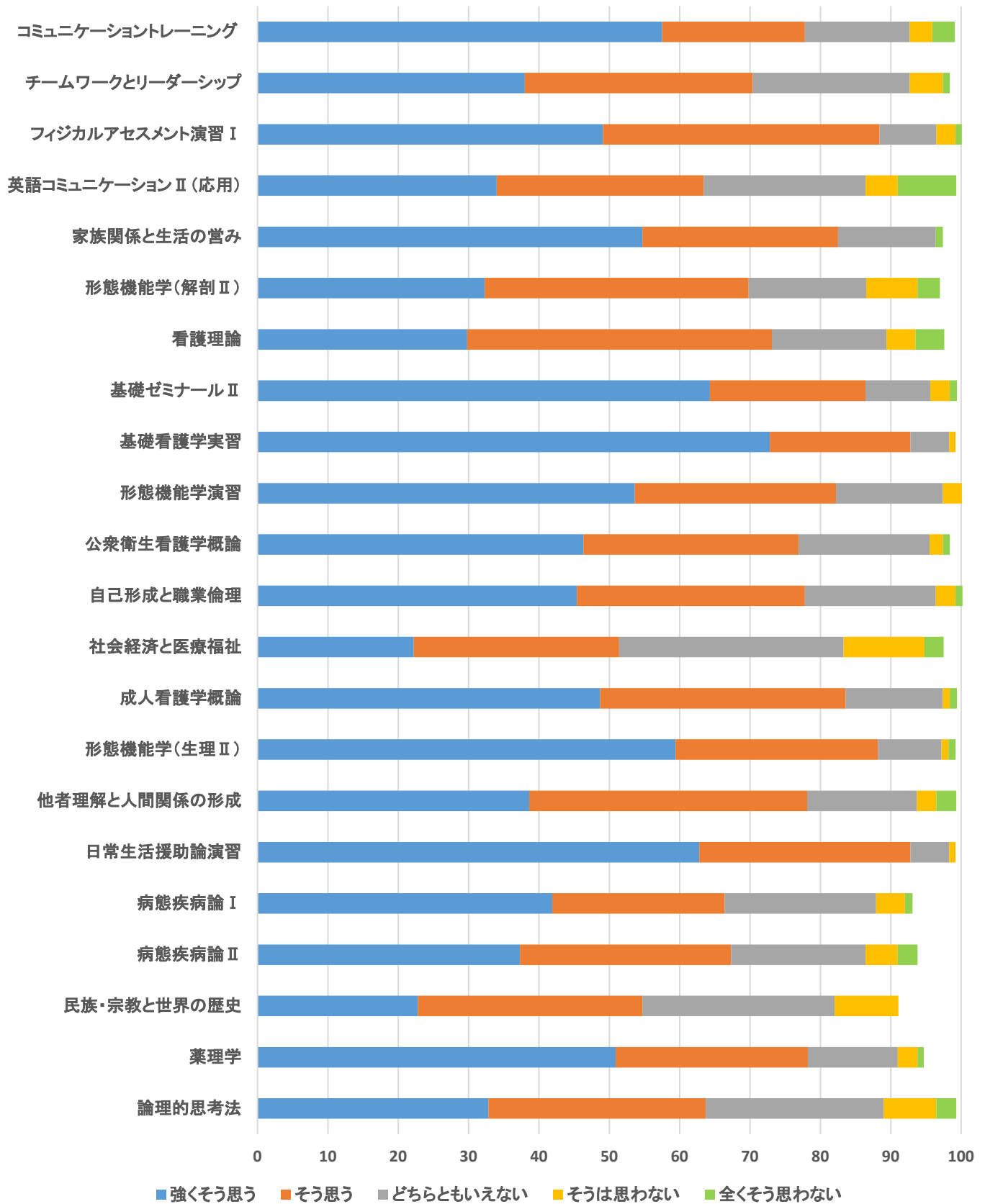
設問9: あなたはこの授業の問題点について 自分で解決しようとしたか？



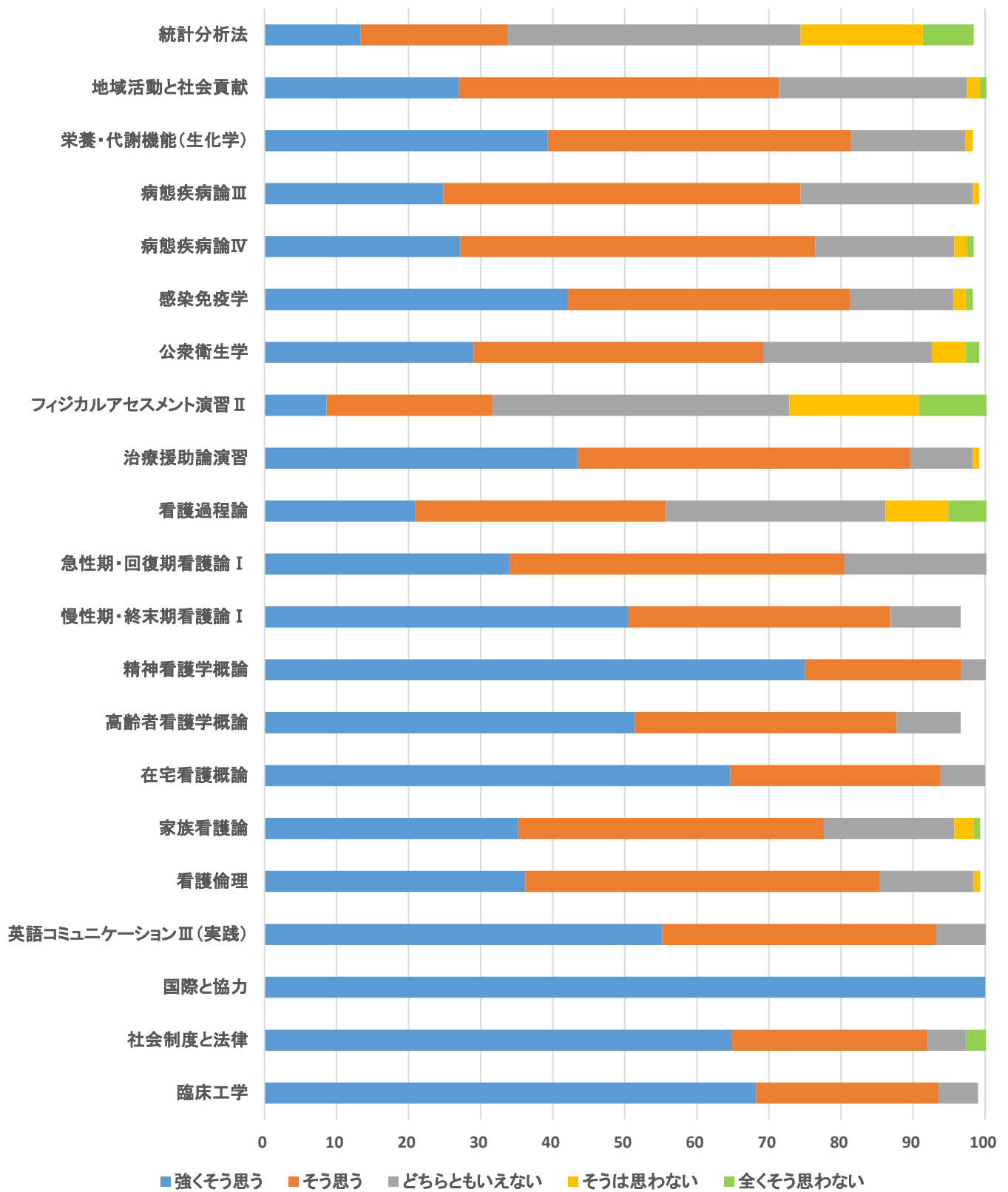
設問10: あなたはこの授業において ノートを作成し、活用できましたか？



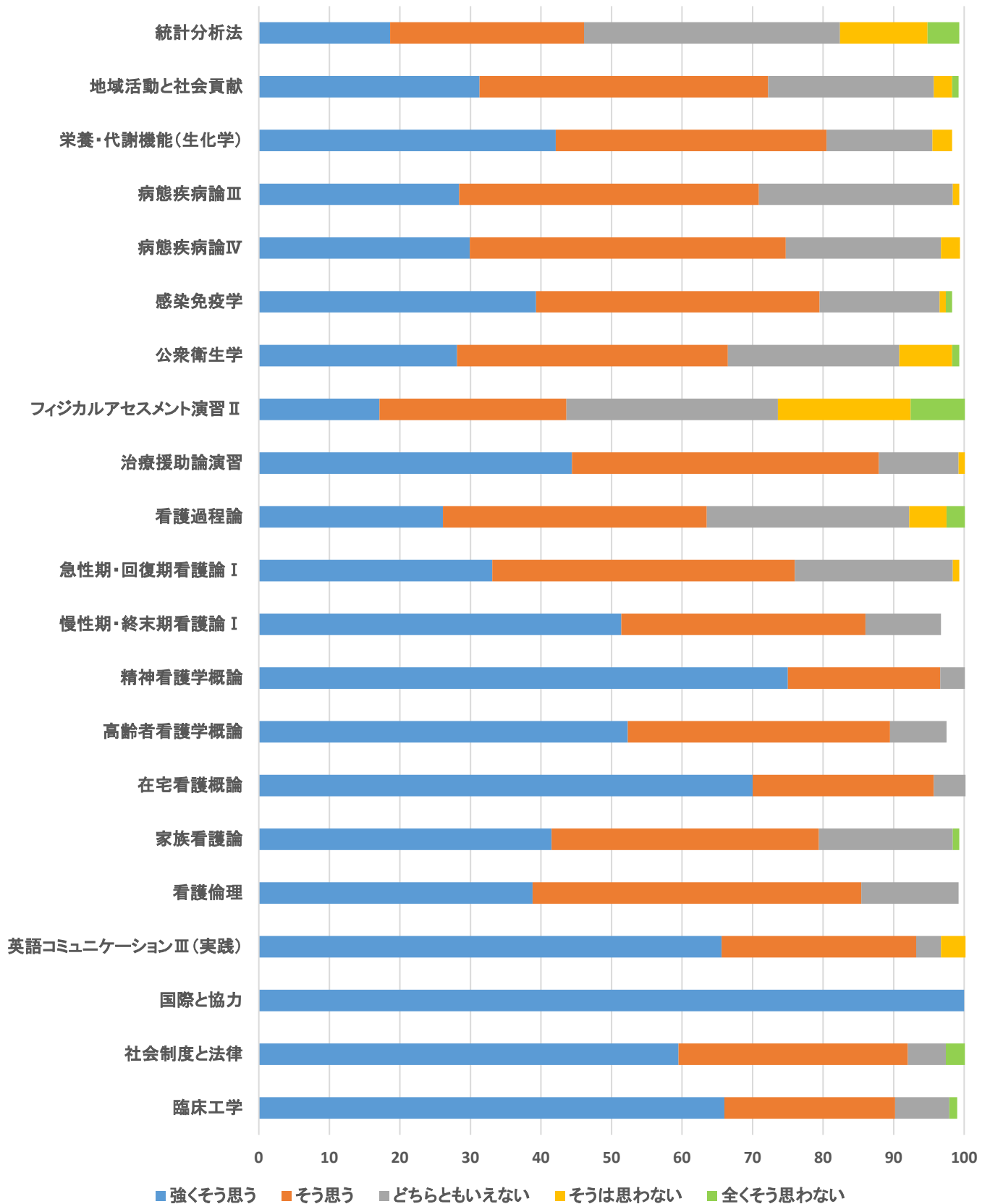
設問11: あなたはこの授業中、居眠りや私語をしなかったと思いますか？



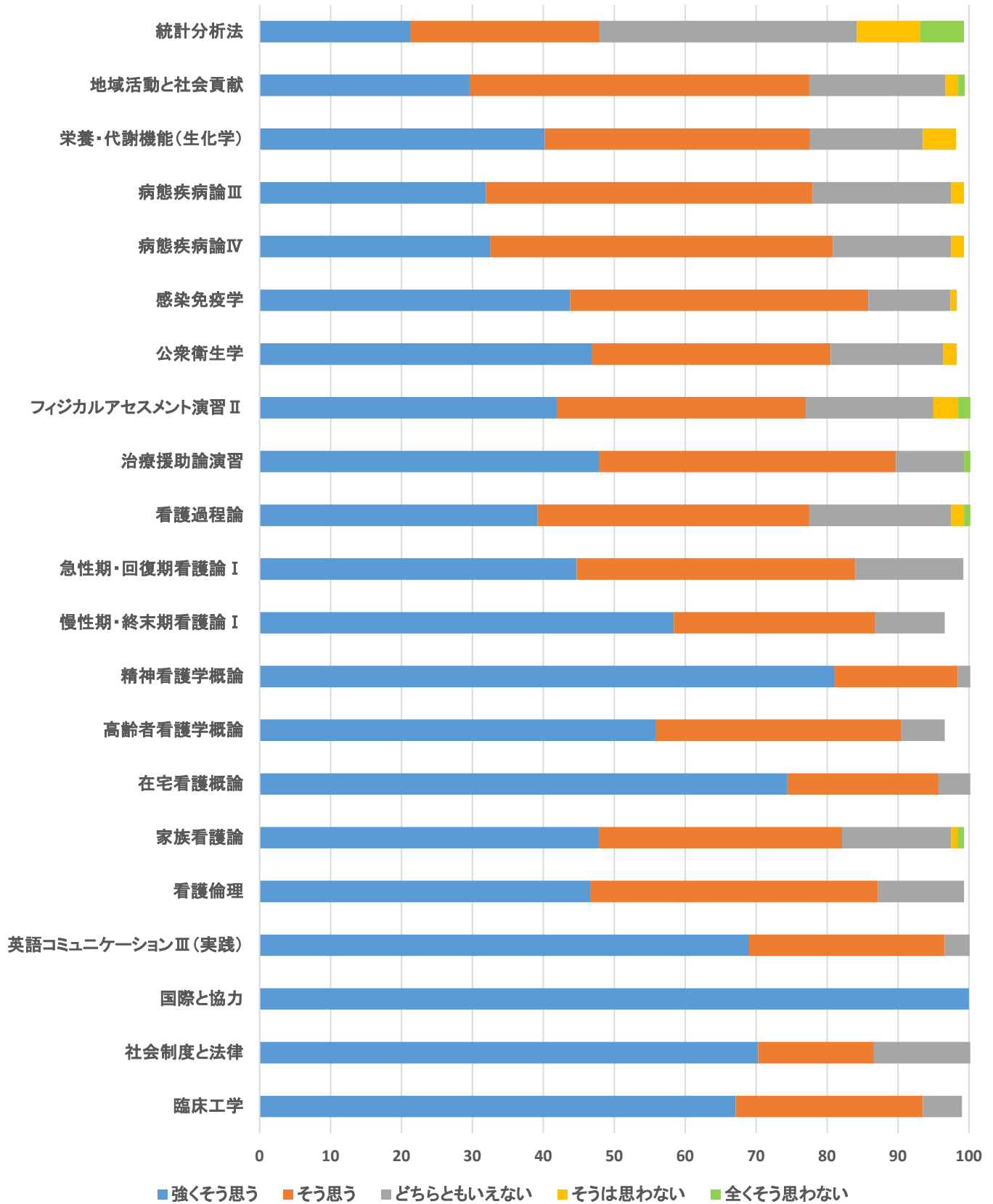
設問1: 授業の要点はわかりやすい 展開でしたか？



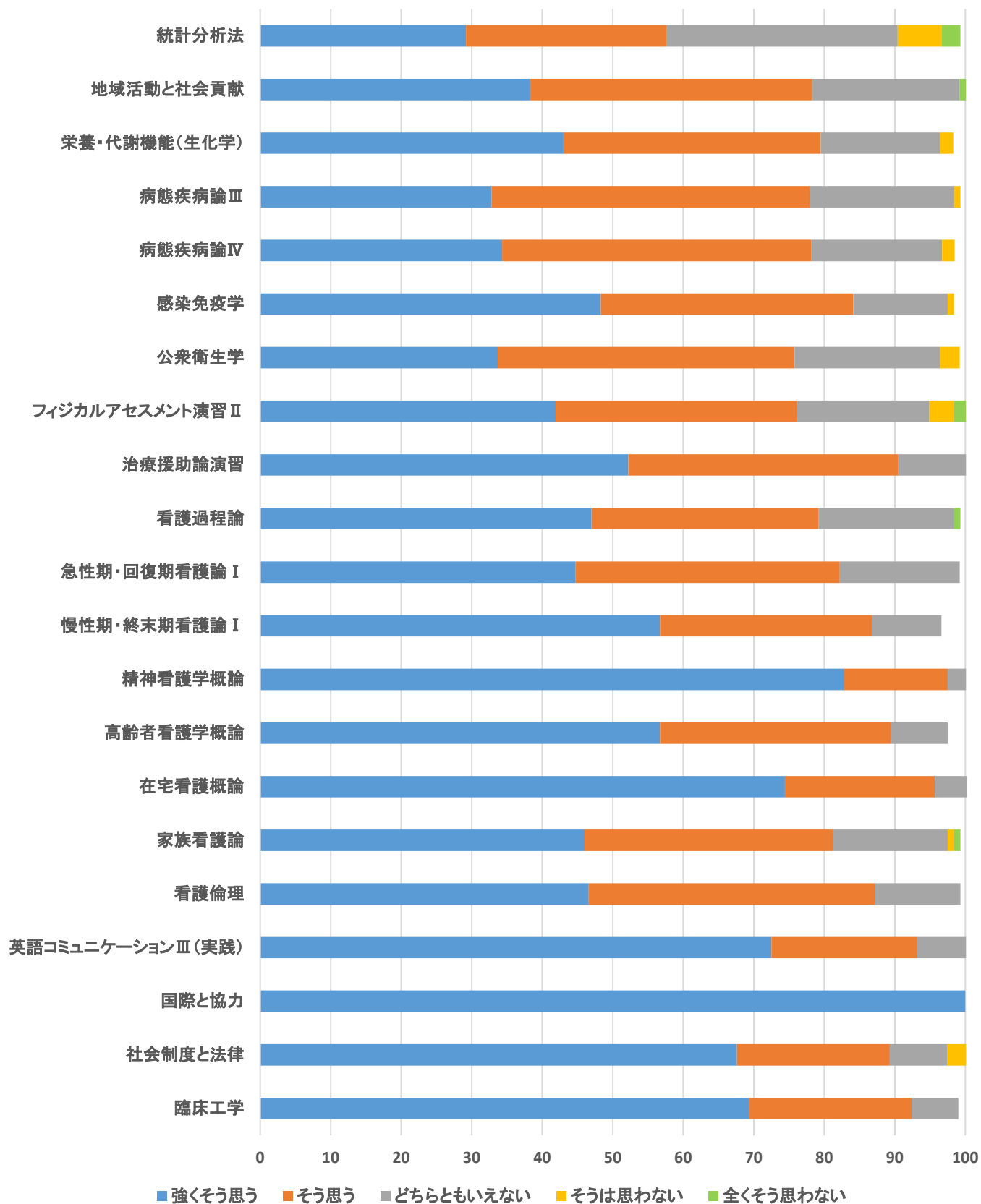
設問2: 教員は学生の理解度に 十分気を配っていましたか？



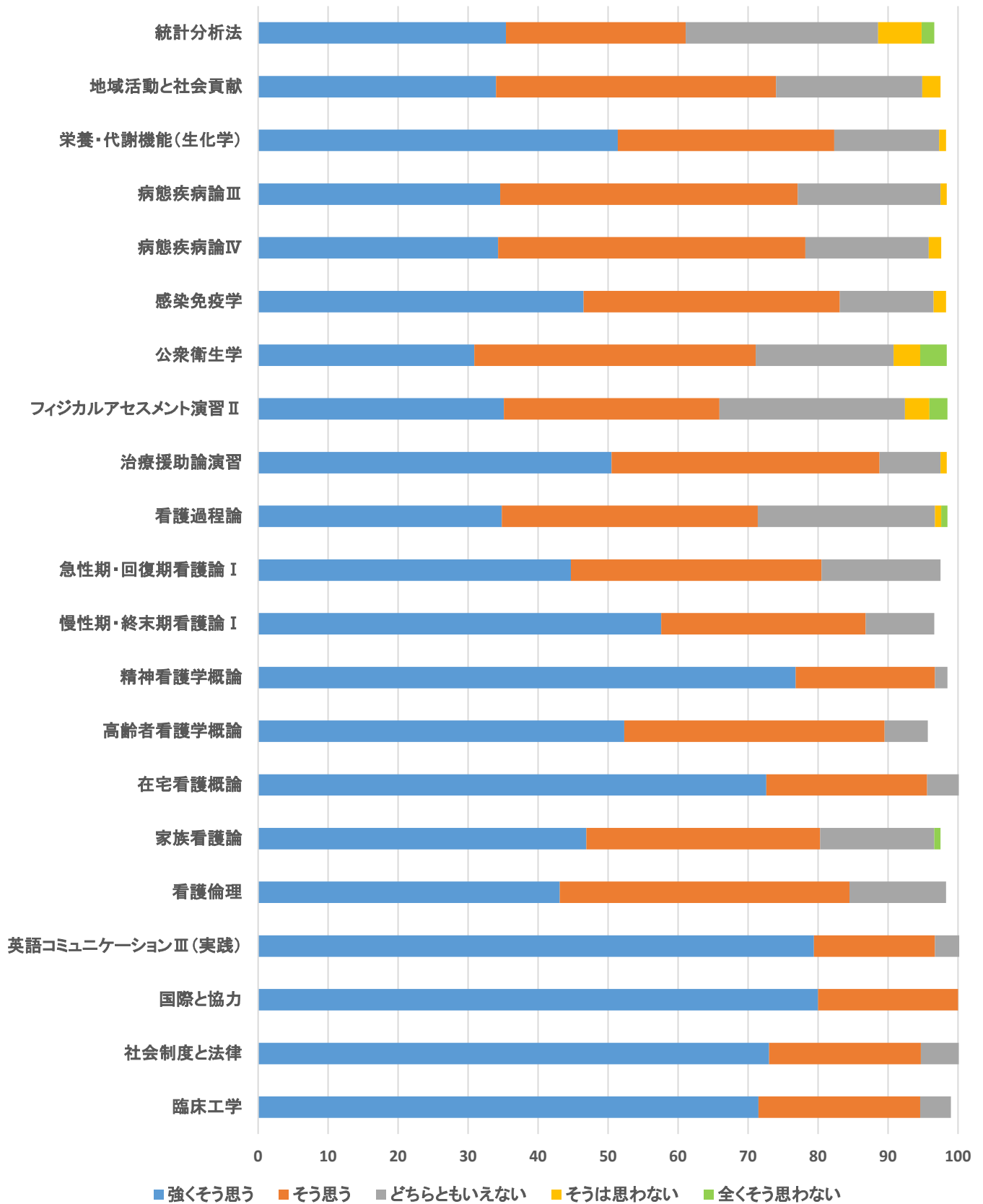
設問3: 教員の声は明瞭で聞き取りやすかったですか？



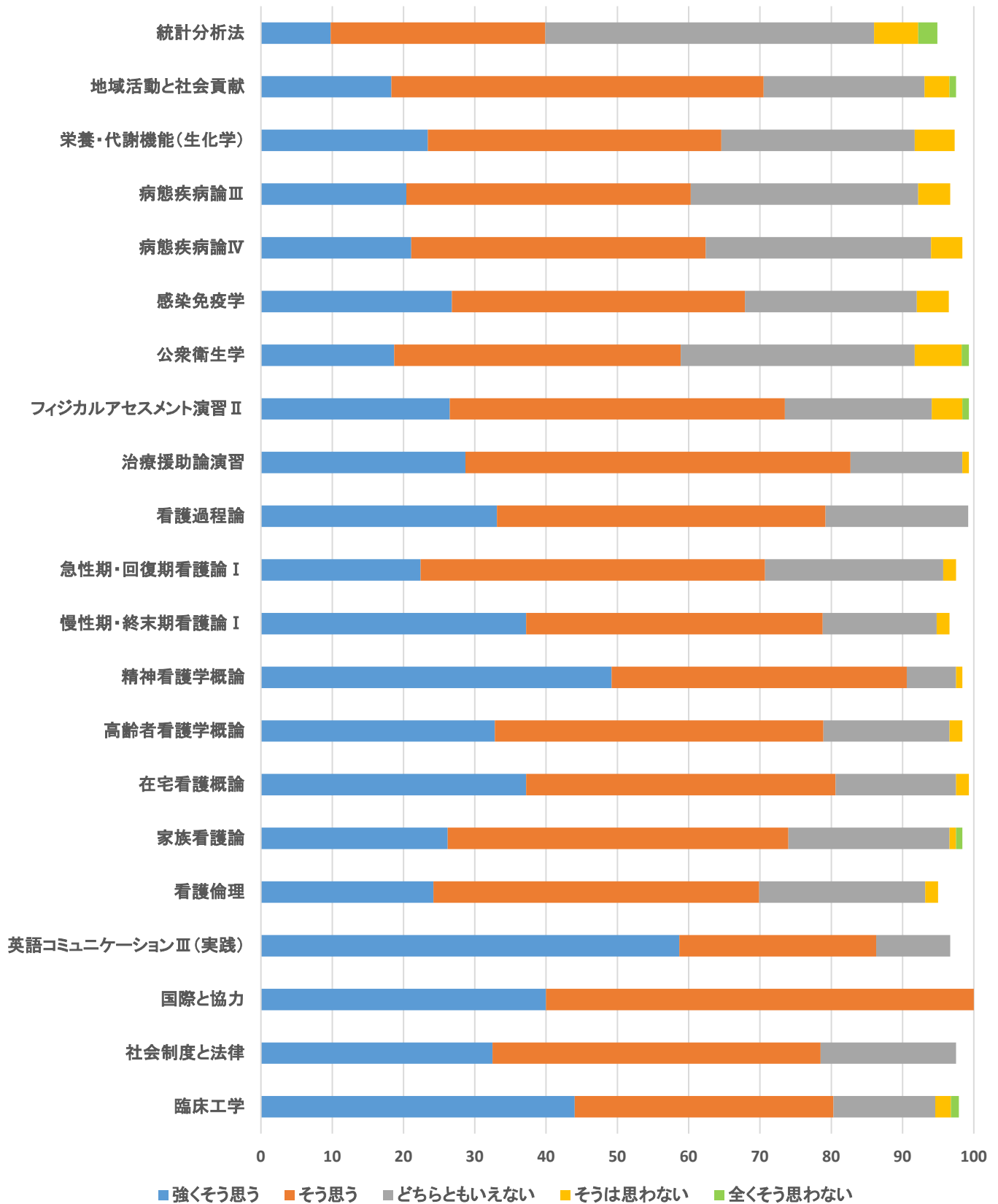
設問4:教員の授業に対する 熱意は十分でしたか？



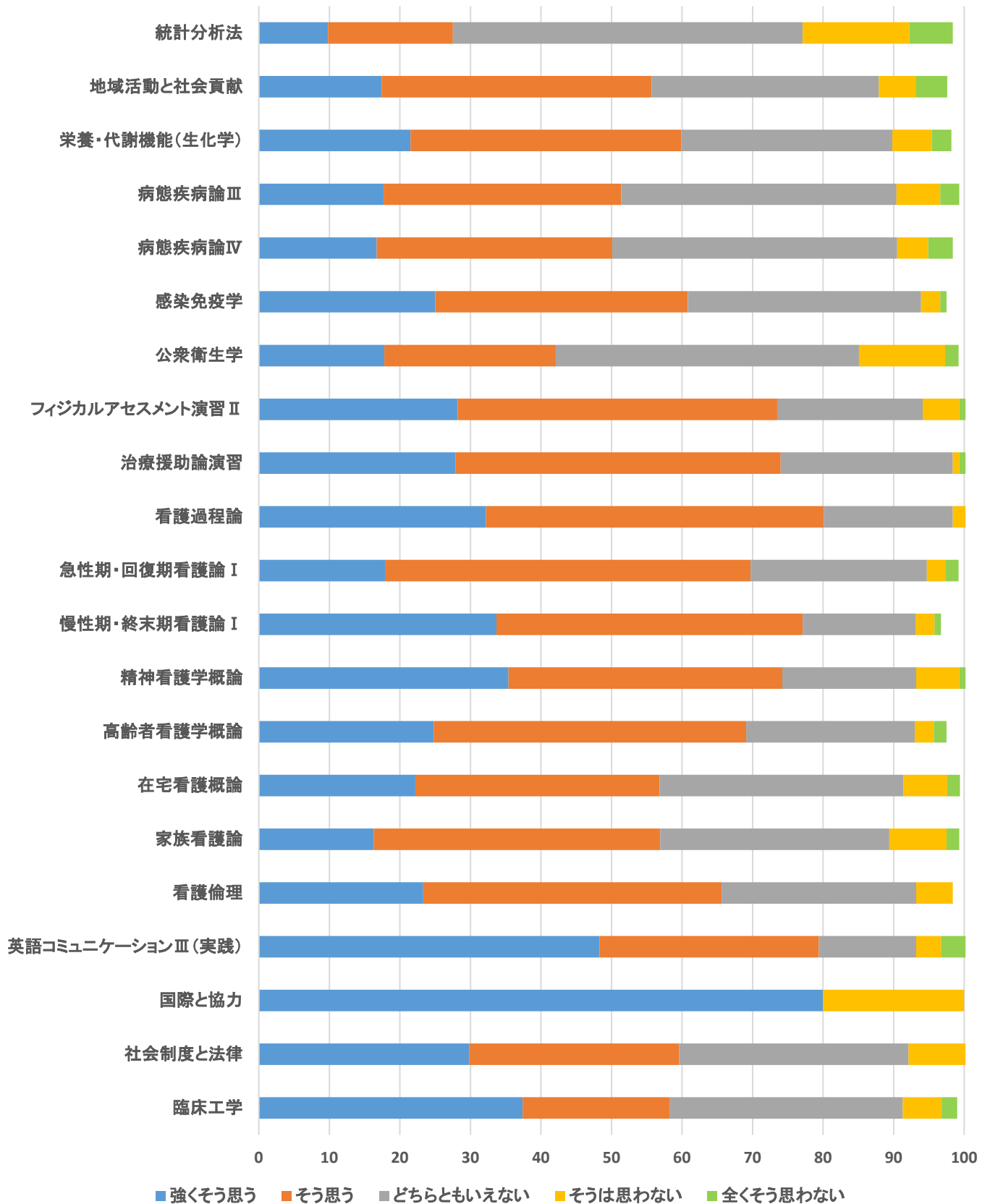
設問5: 教員は授業の準備を 良くしていると思いますか？



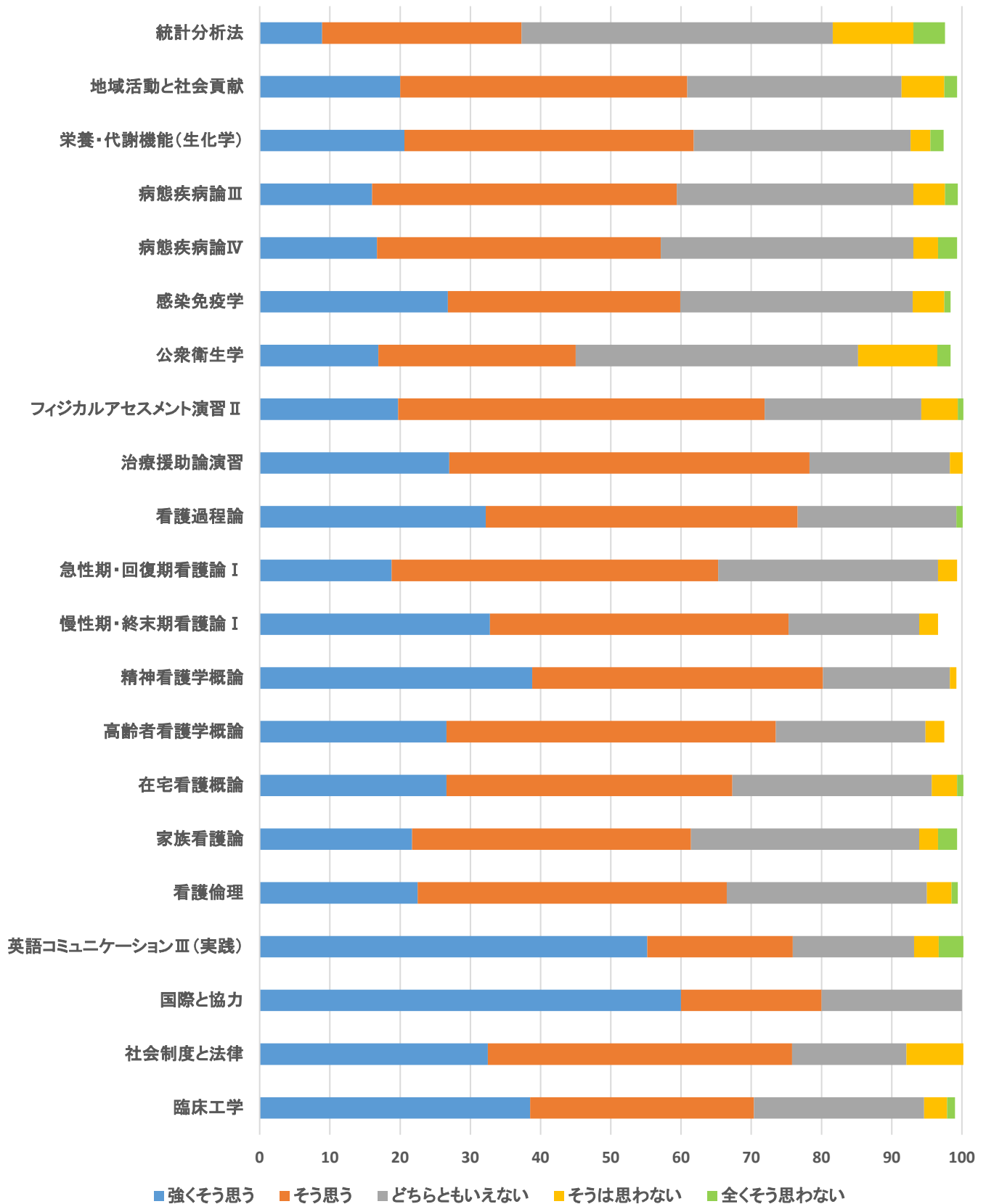
設問7: あなたはこの授業において自分で問題意識を持ち、考えようとしたか？



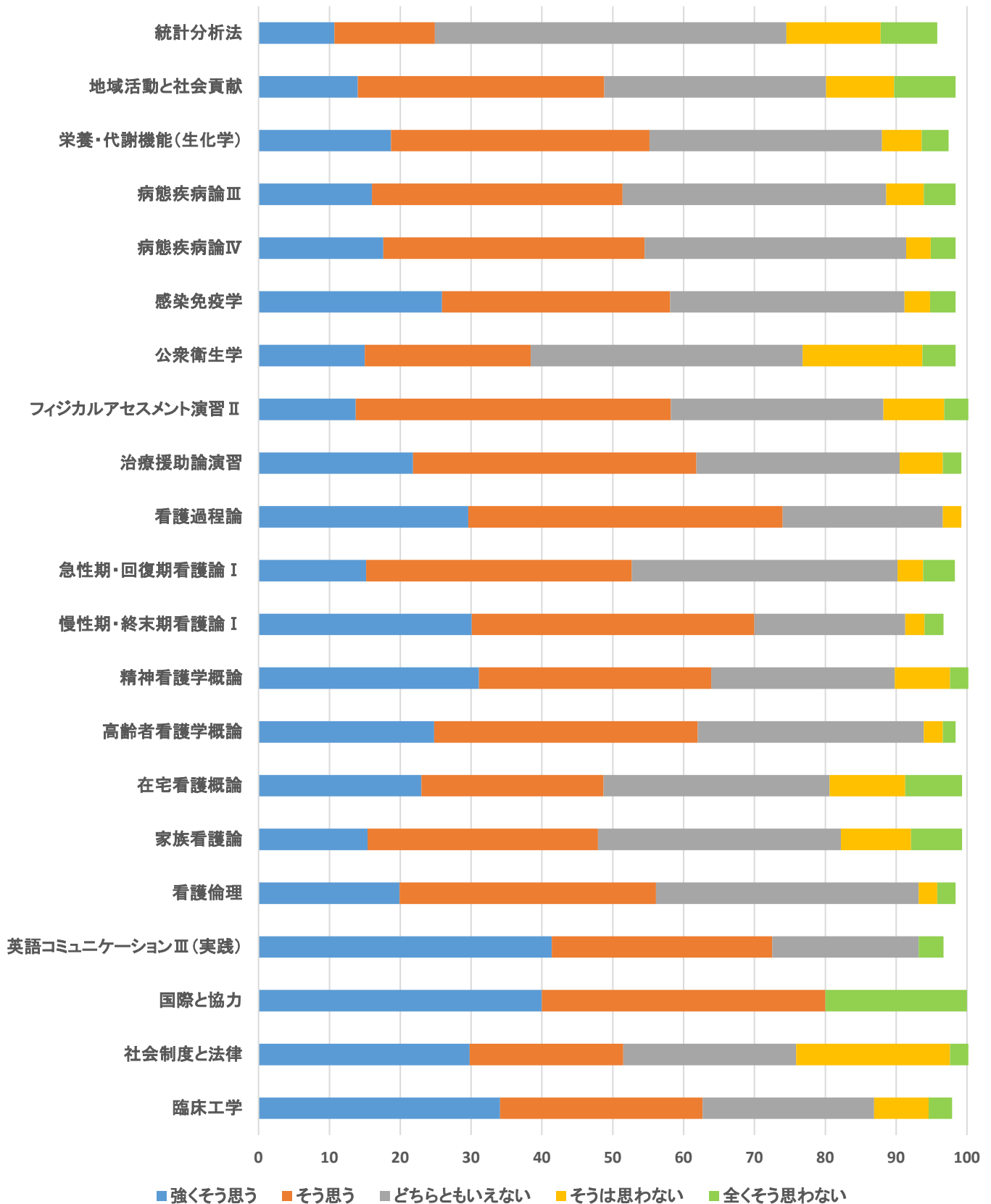
設問8: あなたはこの授業の予習・復習をするように努めましたか？



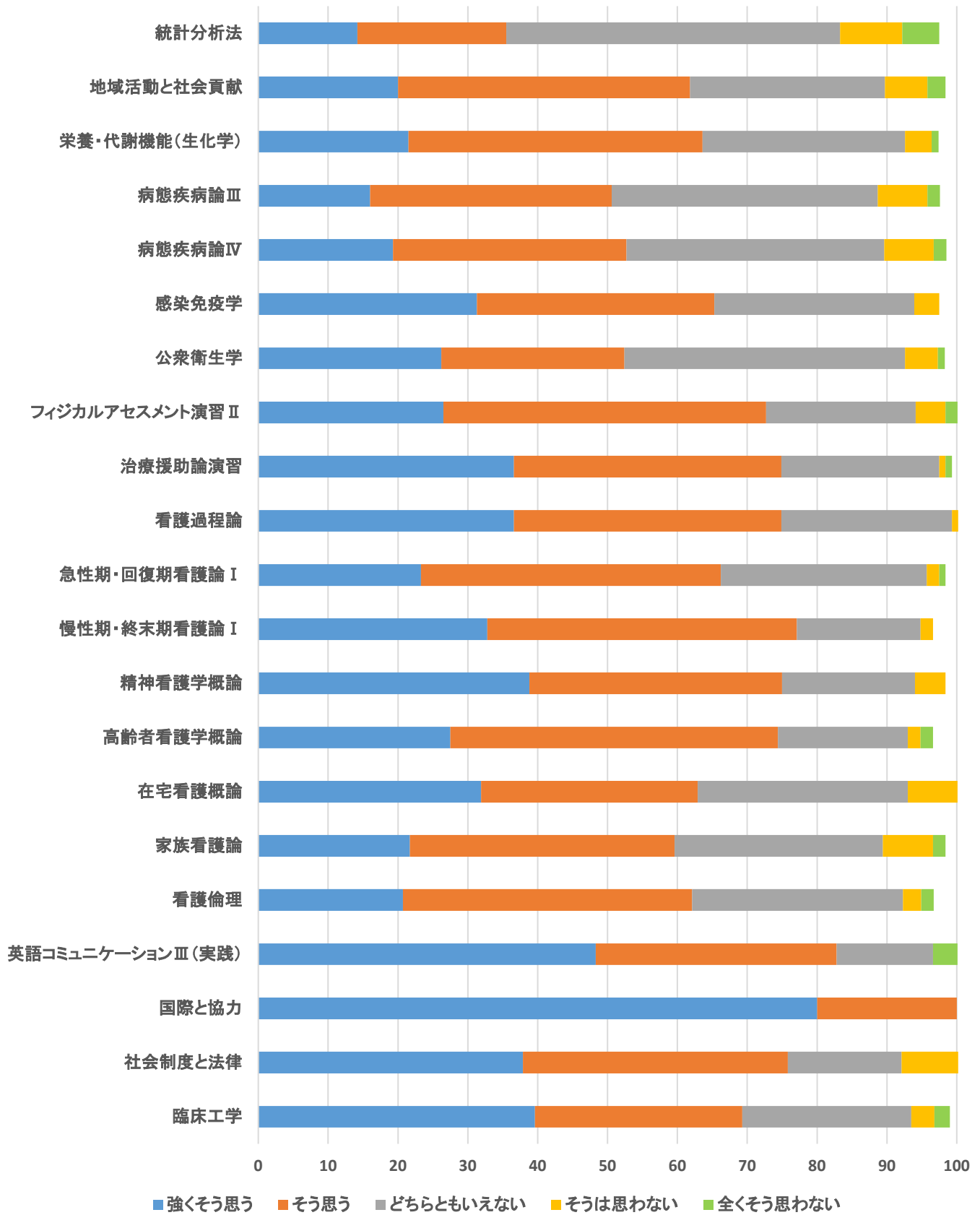
設問9: あなたはこの授業の問題点について 自分で解決しようと思いましたか？



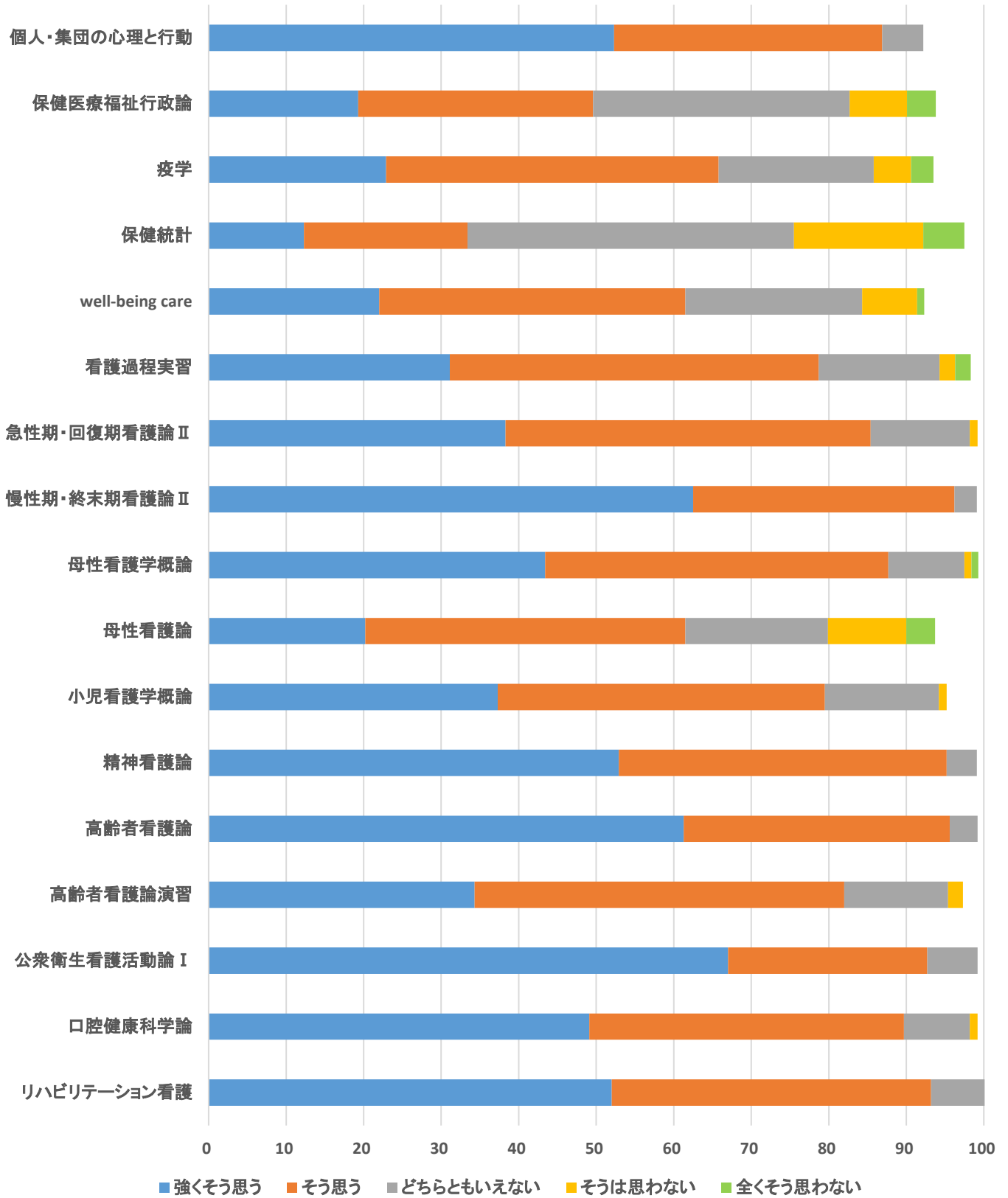
設問10: あなたはこの授業において ノートを作成し、活用できましたか？



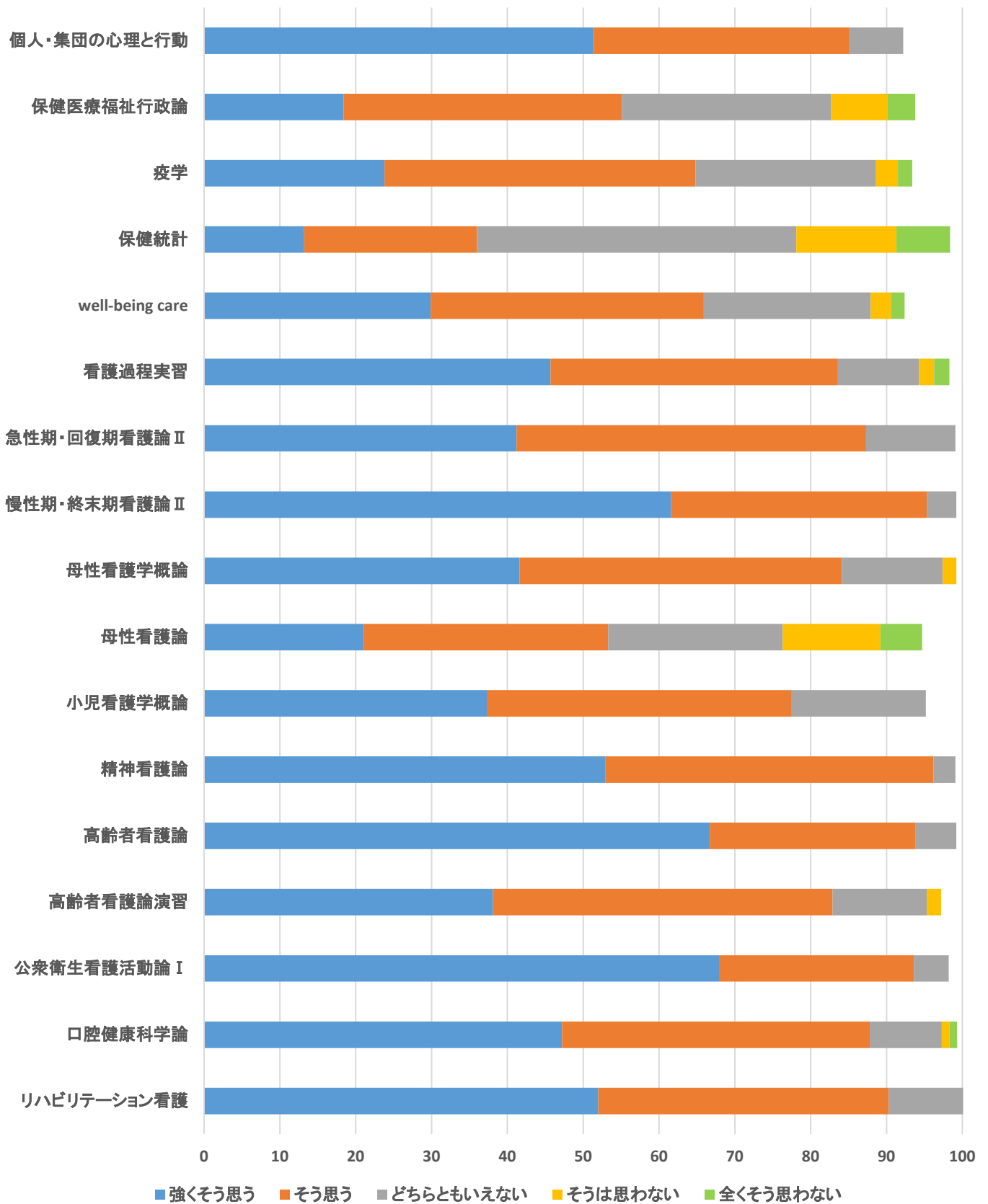
設問11: あなたはこの授業中、居眠りや私語をしなかったと思いますか？



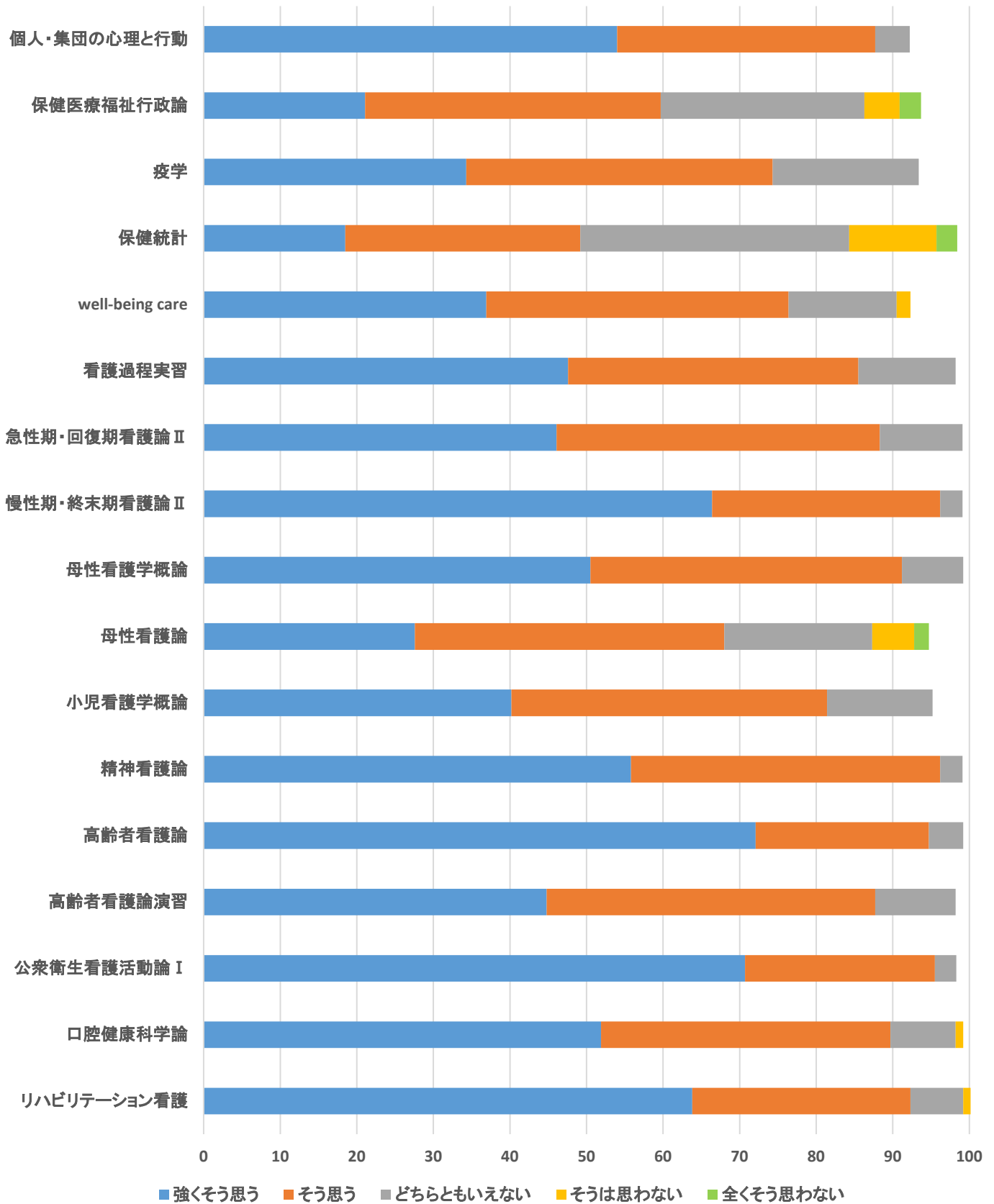
設問1: 授業の要点はわかりやすい 展開でしたか？



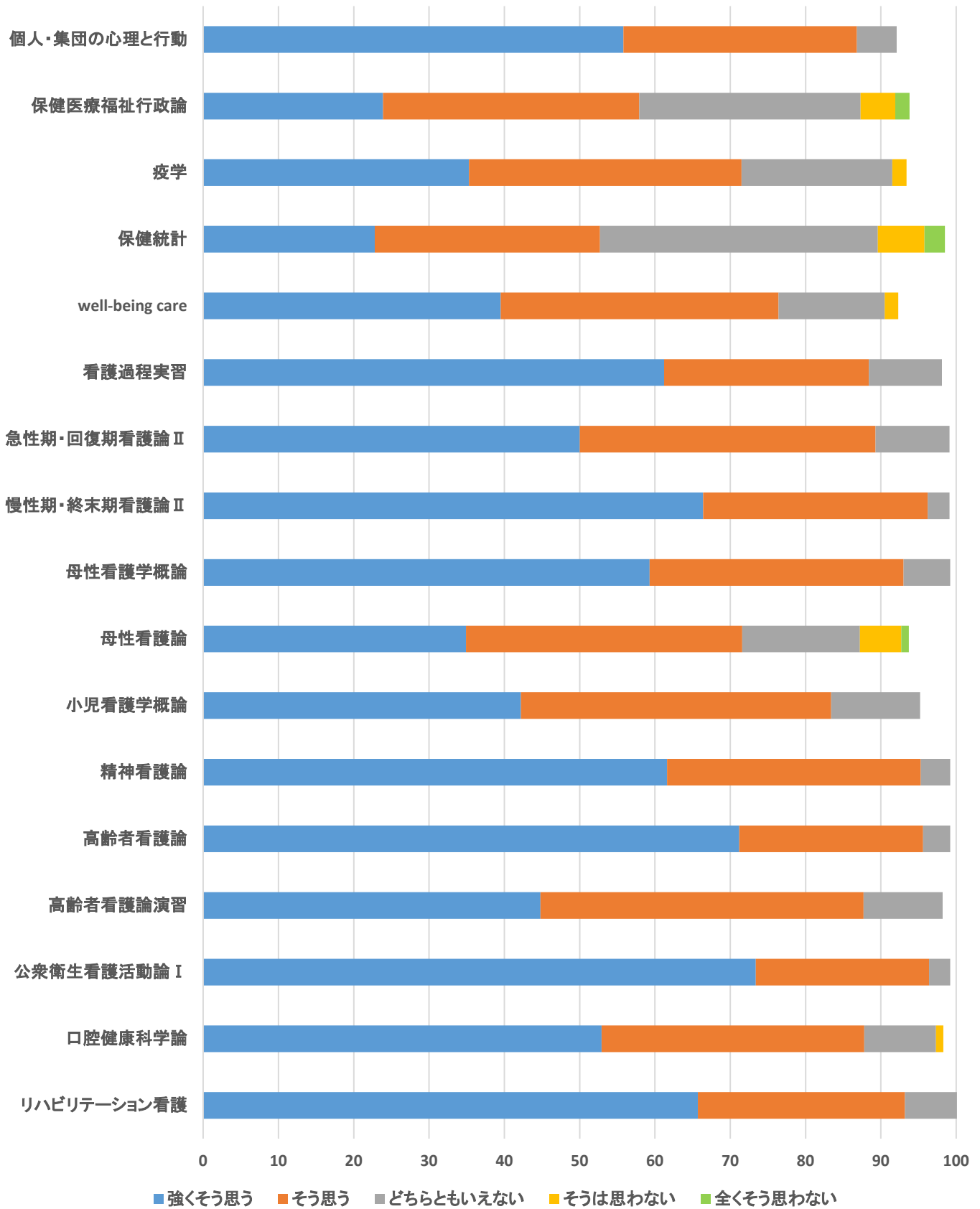
設問2: 教員は学生の理解度に 十分気を配っていましたか？



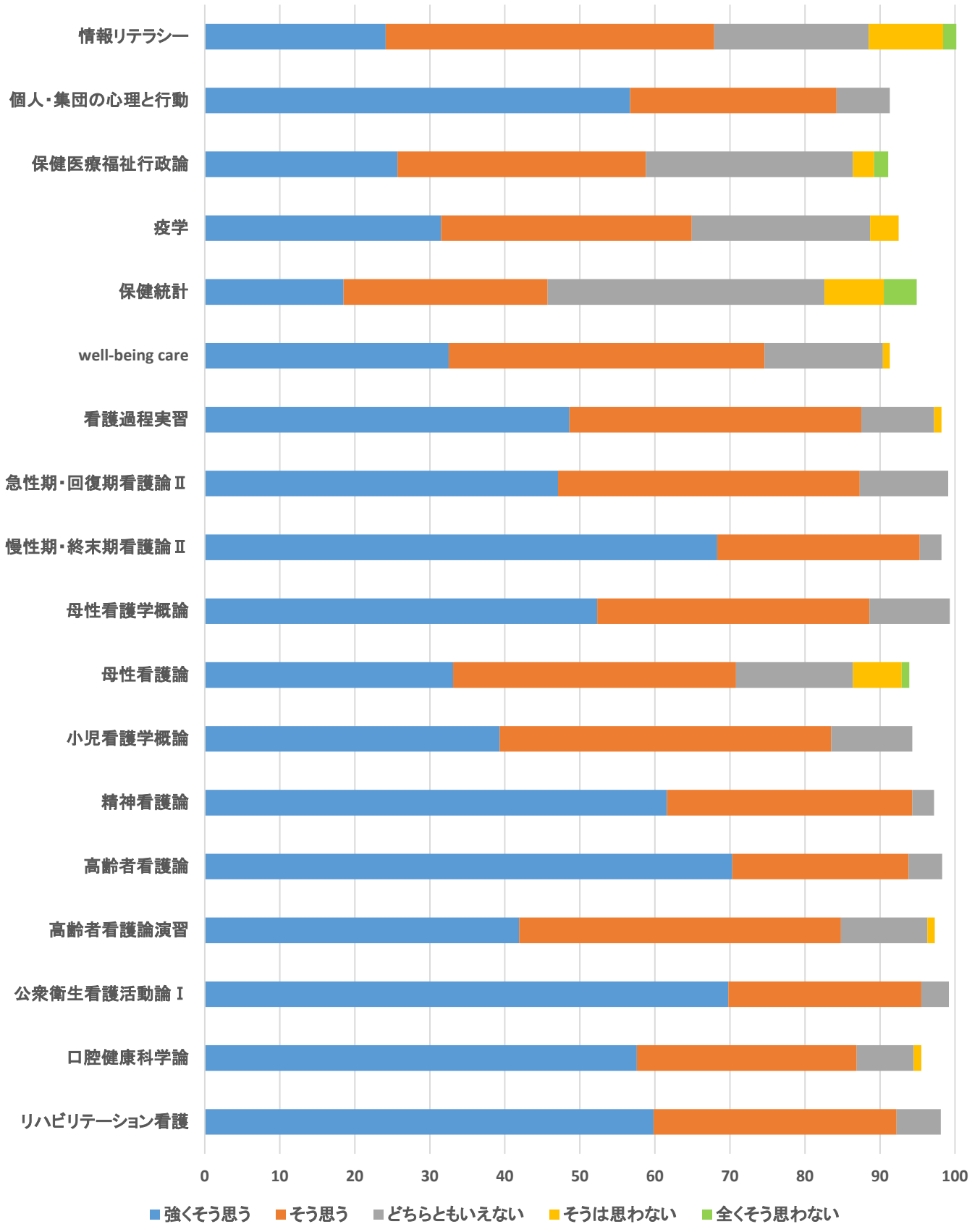
設問3: 教員の声は明瞭で聞き取りやすかったですか？



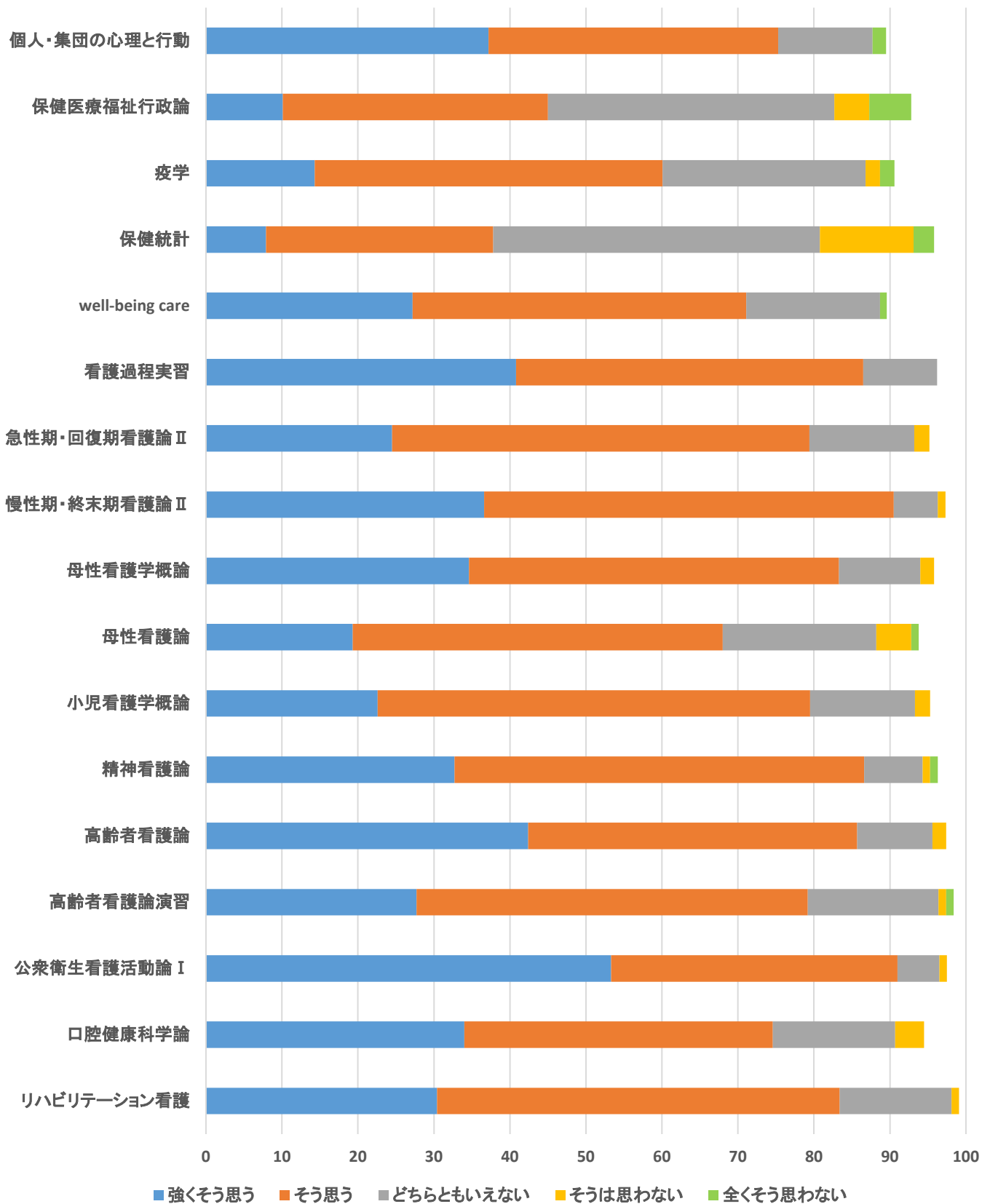
設問4: 教員の授業に対する 熱意は十分でしたか？



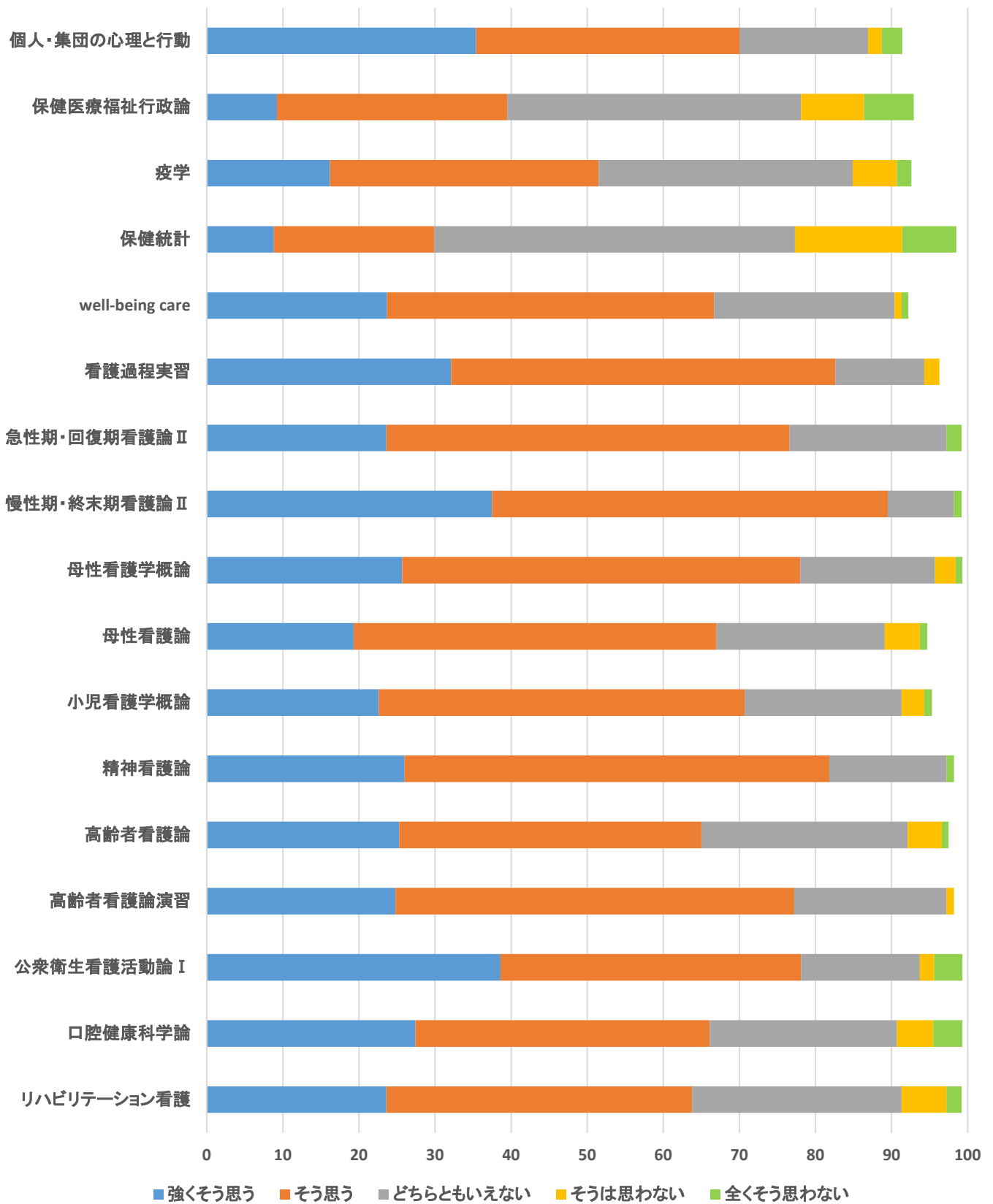
設問5: 教員は授業の準備を 良くしていると思いますか？



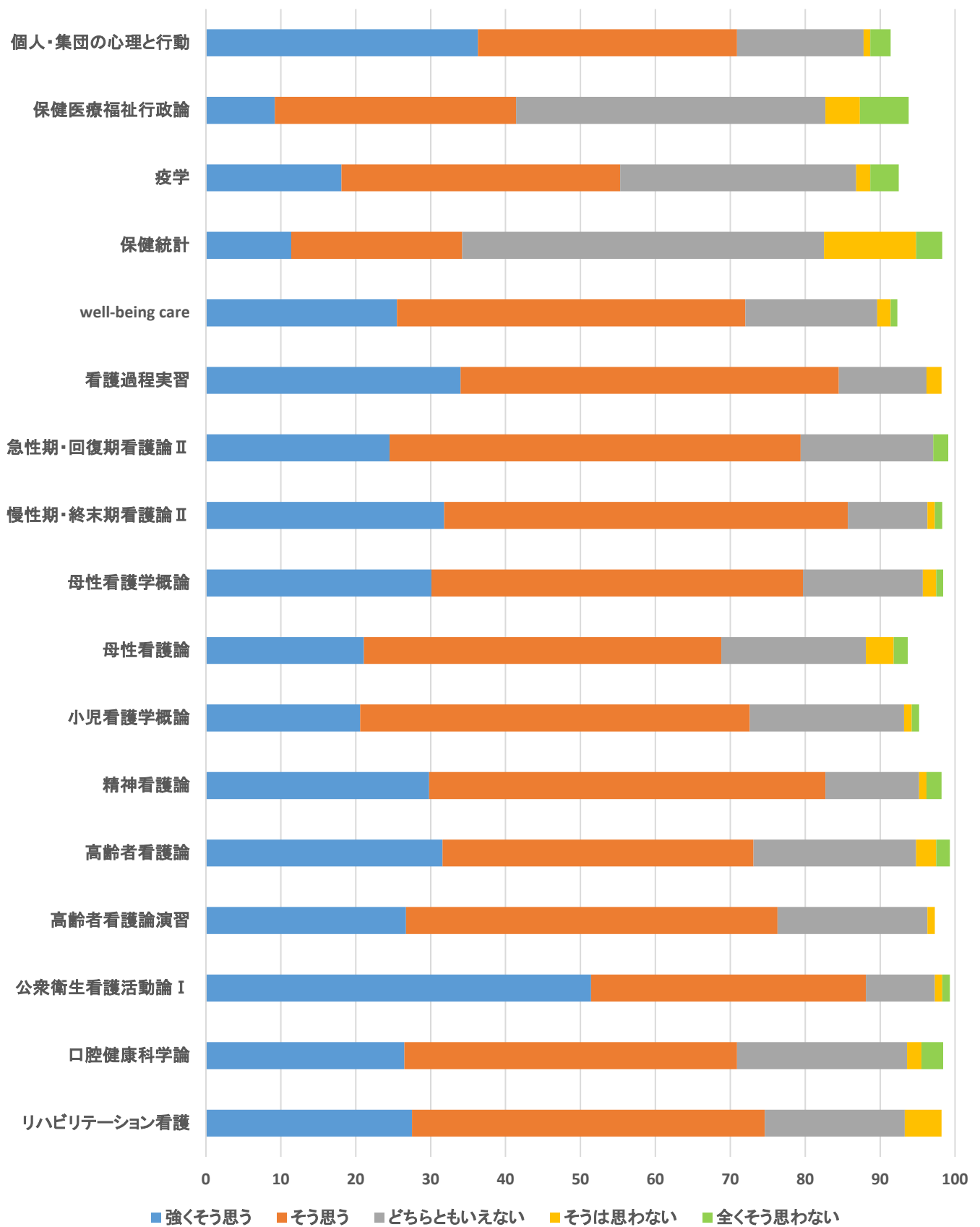
設問7: あなたはこの授業において自分で問題意識を持ち、考えようとしたか？



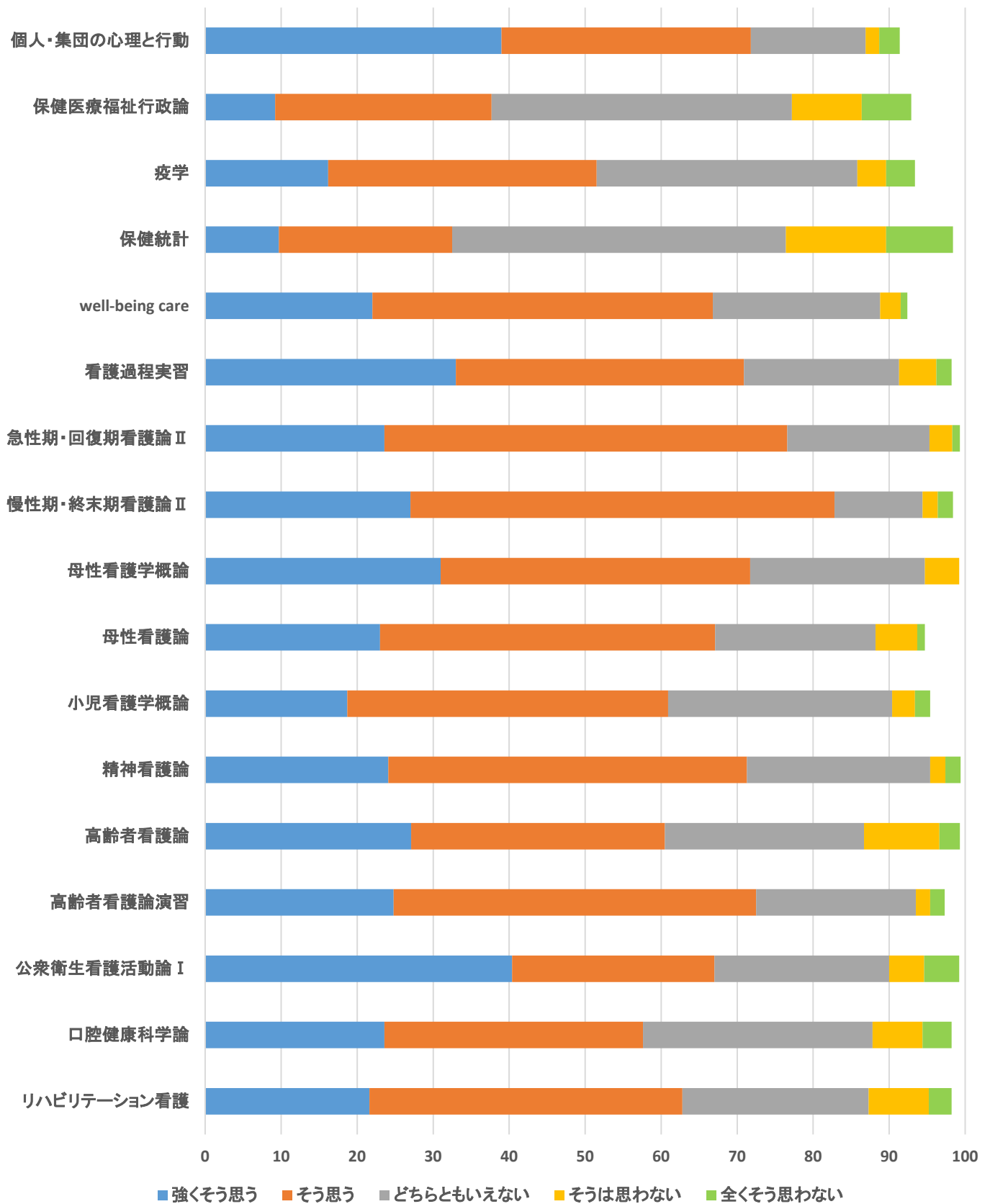
設問8: あなたはこの授業の予習・復習をするように努めましたか？



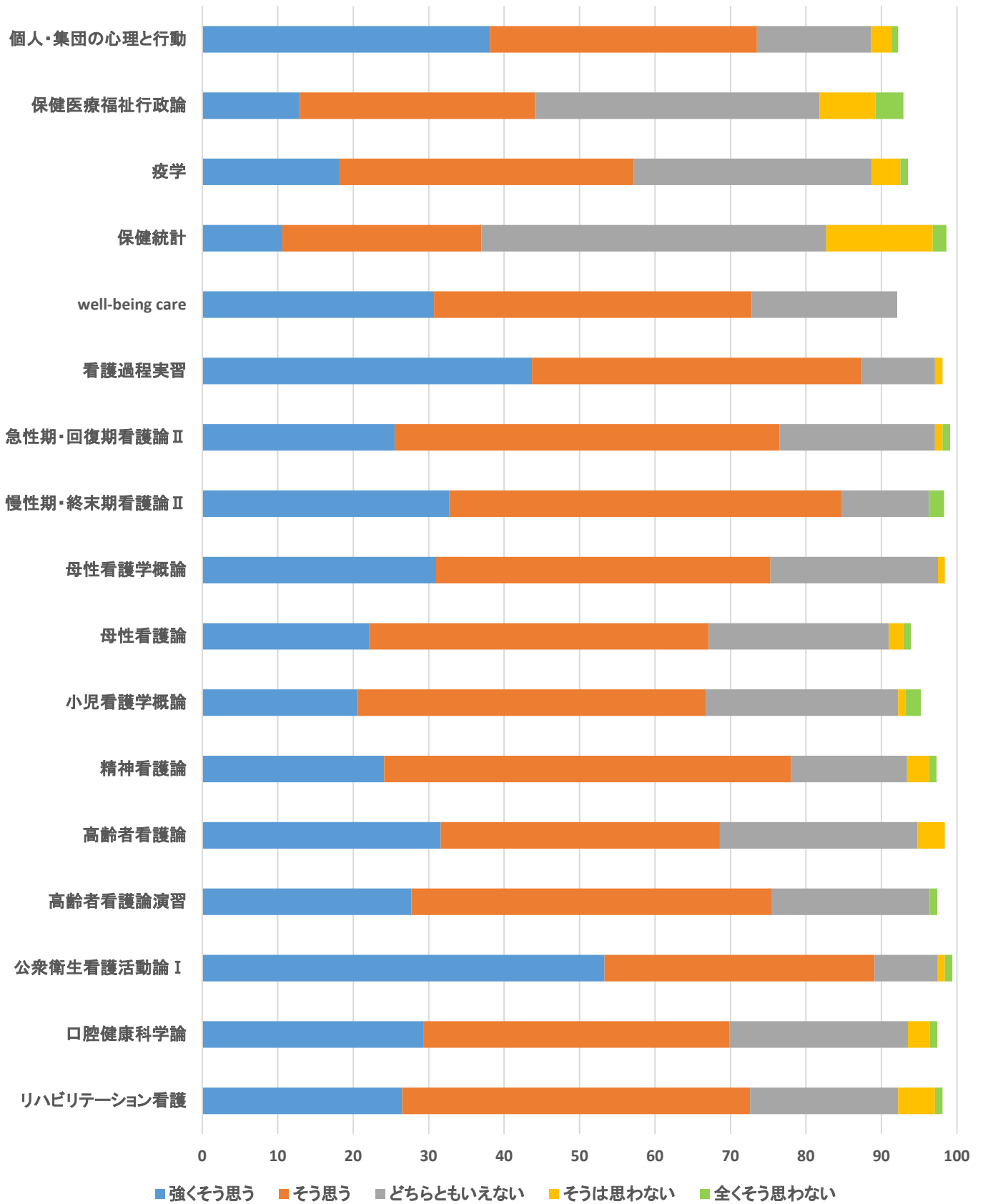
設問9: あなたはこの授業の問題点について 自分で解決しようと思いましたか？



設問10: あなたはこの授業において ノートを作成し、活用できましたか？



設問11: あなたはこの授業中、居眠りや私語をしなかったと思いますか？



名 称 福岡看護大学 平成30年度「学生による授業評価」報告書
発 行 令和2年3月
編 集 福岡看護大学 FD委員会
委員長 飯野英親
平成30年度「学生による授業評価」授業評価部会
発行者 福岡看護大学 FD委員会
〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号
TEL 092-801-0411 (代表)
FAX 092-801-0412